

天満宮

題字／後西天皇御宸筆

季刊
夏号
平成27年7月
Vol.7

特集

- ◆ 講社大祭、厳かに斎行 天神信仰の昂揚を祈願
- ◆ 北野天満宮と御手洗祭
シリーズ「天神と日本のこころ」第三回
- ◆ 「日本人と縄文の心」――縄文世界の中のヤマ――

國學院大學名誉教授 小林 達雄

北野天満宮社報 夏号 Vol.7
KITANO TENMANGU NEWS



菅公 ひこ星の行あひをまつかささぎの
御歌 渡せる橋をわれにかさなむ

北野天満宮の由来

当宮は御祭神に菅原道真公(菅公)をお祀りした全国の天満宮・天神社約一万二千社の宗祀(総本社)の神社です。天神信仰発祥の社として今から千年余り前の村上天皇天曆元年(九四七)六月九日、御神託により平安京の乾の地にあたる北野に御鎮座致しました。天徳三年(九五九)右大臣藤原師輔卿が御社殿を造営、一條天皇により北野祭は官祭に与り、「北野天満天神」の神号を賜り、さらに朝廷・皇室の崇敬を受け二十二社に加列、臣下として初めて官幣中社に列格され国家鎮護・皇城鎮護の神として崇められました。

寛弘元年(一〇〇四)、一條天皇がはじめて行幸されるに及び、以来歴代天皇の行幸も二十数度に亘り、将軍家や有力大名の崇敬を受けております。文道太祖・風月本主と崇められた菅公は、和魂漢才の精神で誠の心を以って学問に勤しまれたことから、学問をはじめ芸能・農耕・厄除け・至誠・冤罪を晴らす神として奉祀されていきます。そして菅公薨去延喜三年(九〇三)より百年をかけて北野の天神信仰が誕生致しました。

菅公は、千有余年の長い歴史の中で、人々の心の支えとなる神として、各時代の社会構造と相まって篤い崇敬をうけ、庶民・一般に至るまで「天神さま」と呼ばれ親しまれてきました。菅公が生涯一貫された「誠の心」は、日本人の感性として現在にも生きています。

現在の御社殿は慶長十二年(一六〇七)豊臣秀吉公の遺命を受けた豊臣秀頼公の造営で、八棟造という豪壮な建築様式を誇り国宝に指定されています。

菅公の御神霊を祀る北野天満宮は、御墓所・太宰府天満宮と共に全国天満宮の宗祀と称され、日本文化の礎、学問の神・天神信仰として篤く信仰されています。



【シンボルマーク】

平安京の乾(北西)に位置する北野の地・天門をイメージし、星欠けの三光門(三辰信仰)から星梅鉢を北極星と捉えた星の軌道と、神社の象徴である一の鳥居を描き、北野天満宮の信仰的特徴を捉えたマーク。

表紙写真 — 「北野の棚機(七夕)祭」 —

当宮は御祭神菅原道真公が七夕の御歌「ひこ星の行あひをまつかささぎの渡せる橋をわれにかさなむ」と詠まれた故事に因み、古くより七夕行事執行の記録が残り、七夕神事を「御手洗祭」と称する重儀として斎行してきた。北野周辺は機織りで有名な西陣の町であり、七夕信仰は今も根強く「天神さまの七夕」として親しまれている。



御挨拶

菅公を偲び「北野天神縁起絵巻―紅梅殿別離の庭」を再現

月日の流れは速いもので、本年も折り返しの月を迎えております。皆様には、ご健勝でご活躍の事と拝察申し上げます。

さて、七月二日、北野天満宮講社大祭が会長千玄室裏千家大宗匠始め会員崇敬者の御参列のもと厳肅に斎行され、天神信仰昂揚に今後も引き続きご奉賛戴きますこと、誠に有難く心より厚く御礼申し上げます。

平成三十九年に斎行致します千百二十五年半萬燈祭に向け、天満宮講社により史跡御土居の整備事業が着々と行われる中、本年五月には初めて「史跡御土居の青もみじ」を公開、新しい神苑の見方として大勢の方々に新緑の清々しさを観賞頂き好評を得ました。本年秋の紅葉のシーズンには、全国よりお越しの多くの参拝者に桃山文化を代表する国宝御本殿等の建築群、歴史・文化に彩られた境内の景観と共に、御土居の紅葉が感動と共感を与えるものと期待致しております。

昨年より境内整備の一環として着手致しました摂末社の遷座、さらに紅梅殿の移築修繕も無事完了し、現在は国宝『北野天神縁起絵巻』に描かれた紅梅殿別離の庭を再現するため、庭造りを進めております。住まわれた京の邸第紅梅殿より庭の紅梅に別れを告げ、遠く太宰府の配所にて失意の内に亡くなられた菅公。そのご神霊をこの北野の地にお祀りし、今日まで千年間に亘り天神信仰の中心としてきたのが北野天満宮です。再現する別離の庭は、菅公の過去・現在・未来をつなぐ、こころの庭として位置付け、様々な文化行事を行って参りたいと考えております。

平成の大改修と銘打った境内整備工事は、梅苑に建設される仮称「北野天満宮会館」の地鎮祭が去る六月十日に執り行われ、本格的な建設工事がスタート致しております。

今後とも、天神信仰の発展、天満宮の興隆に努めて参る所存でございますので、工事中ご参拝の皆様には大変ご迷惑、ご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。

北野天満宮

宮司 橘 重十九



左より菅公邸第紅梅殿、別離の庭、お祀りした御本殿の再現イメージ



講社大祭、厳かに齋行 天神信仰の昂揚を祈願

「御土居整備事業、今後支援」千会長ご挨拶



玉串奉奠される千会長

北野天満宮講社（会長・千玄室裏千家大宗匠）の平成二十七年
度講社大祭は、七月二日午後一時半から本殿で厳かに齋行された。
本殿並びに中庭の特設席に約三〇〇人が参列される中、神前に
神饌と全国約三千人の会員名簿が供えられ、橘宮司が祝詞を奏上
し、天神信仰の更なる昂揚と会員の無病息災・家内安全・諸願成
就を祈願した。

この後、巫女が『紅わらべ』を奉奏。橘宮司、千会長が玉串を
捧げて祭典を終えた。

祭典後、千会長が「平成十九年に『もみじ苑』が開苑し、また
史跡御土居の茶室『梅交軒』の改修により、お茶会などを催すこ
とができ、大変ありがたく思っています。昨年度は念願だった御
土居展望舞台の延長工事が完成し、参詣者の便を図ることができ
ました。今後も継続的に史跡御土居の整備事業に精を出してい
考えです。昨年は、講社の発展にご尽力頂きました役員の方々の
表彰を行いました。今後、天神さまの御神徳発揚及び当講社の
更なる発展のために、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げま
す」と挨拶された。

北野天満宮講社は、平成十四年齋行の千百年大萬燈祭を支えて
きた組織を発展的に継承して翌十五年に発会した。以来、一貫し
て千百二十五年半萬燈祭に向けた諸行事推進の中心として尽力く
ださり、豊臣秀吉公が築かれた遺構である史跡御土居を後世に伝
えていくための整備並びに植林などに取り組んでいる。茶室梅交
軒の改修を始め、その隣接地への舞台造りにも積極的な支援を重
ね、八年前の秋からは待望の「史跡御土居もみじ苑」が開苑とな
り、今では京都屈指の秋の名所として、参拝者や観光客から好評
を呼んでいる。

また、御土居は長年の風雨によって崩壊箇所が目立つようにな
っていたが、元の姿に復旧するよう、有識者からなる「北野天
満宮御土居保存整備委員会」の設立・支援にも尽力され、現在修
復は着々と進んでいる。



全国より参列された講社会員の方々

神楽舞「紅わらべ」

「紅わらべ」は平成十四年、菅公五歳の御歌「美しや紅の色なる梅の花あこが顔にもつけたくぞある」に全国天満宮梅風会が元宮内庁楽師の芝祐靖氏に作曲・作舞を依頼し、作られた新しい巫女舞です。



紅わらべ奉奏

天満宮講社の支援の下、御土居修復着々進む 古代の叡智「版築工法」の現場を公開

雨による土砂流出個所の復旧工事に取り組んでいる「北野天満宮御土居保存整備委員会」は、講社大祭に先立ち六月十七日、修復現場を報道陣に公開した。

当宮境内には、紙屋川に沿って約二百五十メートルにわたり御土居が残っているが、近年の風雨によって土砂が流出し、木の根がむき出しになるなど大きな被害が出ていた。このため、天満宮講社などの要請と支援を受け、平成二十三年四月に文化庁・京都府・京都市文化財保護課・学識経験者らを交えた保存整備委員会を設置、文化庁の補助を受けて被害個所の修復に取り組んでいる。修復箇所は約五十メートルで、約二十メートル分の修復が終了した時点で「復旧の前と後の様子を見較べることができる」として、この日の公開となった。

修復は、古代から使われ、高松塚古墳（奈良県明日香村）などでも用いられていたという土を突き固める「版築（はんちく）工法」によって行われた。土塁のえぐり取られた部分に土を盛り、その上を木製の棒を使って何度も何度も叩き上げ、層を重ねていくもの。盛られた土は、五十センチから一メートルほどで、修復を終えたところには菰（こも）がかけられた。菰はそのまま腐食し、自然の形で御土居が復旧されることになるという。

残り約三十メートルの修復が終るには、まだ二年ぐらいかかるという。

御土居は、天下統一を成し遂げた秀吉公が、京都の中心部を取り巻く形で天正十九年（一五九一）に築いた延長二十二・五キロに及ぶ土塁だが、大半が開発などによって消滅し、現在は当宮境内など九カ所が史跡指定を受けて保存されている。

中でも当宮境内の御土居は、往時の姿をよく伝えるものといわれ、一昨年には京都市埋蔵文化財研究所によって発掘調査が行われた結果、大雨などの際に境内に溜まった水を紙屋川に流すための石組の「悪水抜き」（取水口）が発見されるなど大きな話題を呼んだ。

千百二十五年半萬燈祭（平成三十九年）に向けた整備事業は八〇九頁に続く



長年の風雨によってむき出しになった御土居の木々



版築工法により復旧した御土居の法面（のりめん）



「版築工法」の作業



耳鼻咽喉科学教室の学業成就祈願
(平成27年4月19日)



40年前の参拝 集合写真

北野天神さんと私自身

我が家のルーツは鹿児島ですが、父親の代からずっと京都に住んでいます。住いが「衣笠」と近いこともあり、北野天神さんには親近感をずっと持っています。芳醇な梅の香ただよう早春に、もえるような紅葉の秋に、また露店が並ぶ縁日によくぶらりと参拝させていただいております。また「学問の神様」でもあり、子供の受験時に常に手を合わせてきました。参拝しますと本当に心が洗われた気がいたします。

四十三年間続いている団体参拝

耳鼻咽喉科学教室

私も関西医科大学の耳鼻咽喉科学教室は、昭和四十七年より、今日まで毎年欠かさず一月末に実に四十三年間、教室員やOBが打ち揃って、昇殿参拝してきました。私の先代の熊沢教授の時代、当時助教授であった馬場昭夫先生が北野天神さんの三代前の浅井宮司さんと親交があったご縁で、教室の学業成就、勤学ならびにその当時教室員の不幸が続いたこともあり、教室員の厄除けと健康を祈念して始まりました。私の代になっても、この素晴らしい行事を継承し、また私の次の代の友田教授も続けています。その間、天満宮では浅井、梶、橘宮司と、教室の方では熊沢山下、友田教授と夫々三代に亘って続けていただいたことになります。今でこそ教室員の自由参加ということで二十〜三十名の規模ですが、一時は教室行事とし、かつその後に新年会を行っていましたので、六十〜七十名が参加し、その全員が昇殿し、ご祈祷を受けていました。厳寒のシーズンに三十分位の正座は大変でしたが、それで身が引き締まり、今年も勉学に励もうと心を新たにしました。またお蔭様で教室は参拝を始めてから今日まで、学問の業績も高くなり、また大過なく過

関西医科大学理事長 山下 敏夫



大学と病院の全景

ごさせていただいております。このような長期間続く団体参拝は北野天満宮としても珍しいのではないかと思います。

大学代表としての参拝

私は八年前に耳鼻咽喉科の教授から大学学長に転身いたしました。そこで耳鼻咽喉科教室としての団体参拝とは別に、日を改めて大学代表として、大学の教育・研究の発展と無事を祈るため、また医師国家試験合格などを願い、毎年一月中旬に参拝するようにいたしました。特にその年に医師国家試験を受験する約一〇〇名の学生全員の合格祈願とお守りをいただき、それを持ち帰り、一人一人に激励の言葉とともに、手渡すことを慣例としてきました。彼らは学問の神様の天神さんに守られているということで、心強く感じているようです。有難くまたうれしいことです。私は本年三月末をもって学長職は満期退任となり、学校法人関西医科大学理事長の職に専念しますが、後任の学長も大学代表としてのこの参拝を続けてくれると思います。

関西医科大学とはどういう大学か

関西医科大学は今年で創立八十七周年を迎える伝統ある私立の医科大学です。京都と大阪のほぼ中間点にある枚方市にあり、京阪電鉄枚方市駅前で、かつ淀川に面するという交通至便、環境良好な場所にある大学です。二年前に新学舎が完成したこともあり、現在の入試競争率は約四十倍という受験難関校になっています。大学に接して存在する附属枚方病院は、色々な雑誌のランキングで常に全国でも五指に入る評価をいただいています。その他に二つの分院と健診センターを有する本学は、その規模や質において西日本屈指の私立医科大学であると自負しています。本学の建学の精神は「慈仁心鏡」で、すなわち慈しみ、愛を心の規範として生きる良医を育成することを目的として日々励んでいます。一方、附属病院を中心に、高度で良質で安全な医療を通じて地域医療に貢献しています。

本学の校章は「梅」をモチーフにしたもので、梅の名所の北野天神さんとの何らかのつながりを感じます。今後とも北野の天神さんには温かく見守っていただき、本学が益々発展することを心から祈っております。

「山下敏夫理事長 略歴」

昭和四十一年 関西医科大学卒業
 昭和四十七年 京都大学耳鼻咽喉科 助手
 昭和四十七年 関西医科大学耳鼻咽喉科 講師
 昭和四十七年 ドイツ・フランクフルト大学耳鼻咽喉科 助手
 昭和五十五年 米国・ハーバード大学耳鼻咽喉科 招聘講師
 昭和五十六年 関西医科大学耳鼻咽喉科 助教授
 平成五年 関西医科大学耳鼻咽喉科 教授
 平成十九年 関西医科大学 学長
 平成二十二年 学校法人関西医科大学 理事長

「日本人と縄文の心」

—— 縄文世界の中のヤマ ——

國學院大學名誉教授

小林 達雄

縄文ムラは、自然の真只中に包み込まれている。その自然のニッチ（自然の生態力・資源力）は、縄文人の肉体を維持するための食物、エネルギーはもとより、物質面全体を支えてくれるものであった。しかし、自然に身を委ね、生かされるだけで

はなく、積極的に新しい関係を結びながら、自然の社会化を進めていくのである。

ムラの自然環境は、縄文人によって取捨選択され、縄文人の心身に見合ったカタチに編集されたのである。縄文人独自の人間圏の形成である。川田順造は「所与としての自然」と「文化によって生み出された自然」と区別する（『コトバ・言葉・ことば』）。

自然の中から、とくに縄文人が関心を寄せたり、さまざまな関係を結んだものによって、縄文人圏は形成される。縄文人による自然の社会化である。とくに巨木、奇岩、川、山などが重要視されるが、具体的に知ることは極めて難しい。長野県尖石遺跡の傍には、大きな石があり、縄文人の手によって磨かれたと思しき痕跡がみられる。尖石縄文人圏の一端が窺われる稀有な例である。

なかでも、縄文人が確かに重視していたと思われるものにヤマがある。どんなヤマでもいいというわけではなく、円錐形または笠形（大場磐雄「神奈備山と神社」）にこだわっていた。これに聖性を認める観念が縄文世界観に根付いており、万葉集の中にもその伝統がはっきり収められている（上野誠『日本人にとって聖なるものとは何か』）。

ムラの中には、堅穴住居をはじめ、貯蔵穴やゴミ捨て場、公共的な広場など、日常生活が必要とする施設が据えられ、いよいよ人工的景観へと様変わりする。ここに立つ縄文人の空間認識において、ムラを近景とし、外に広がるハラを中景に、そしてヤマを遠景とする遠近法の成立である。一

点透視法とは別の、やがて浮世絵につながる遠近法の先がけとなる。

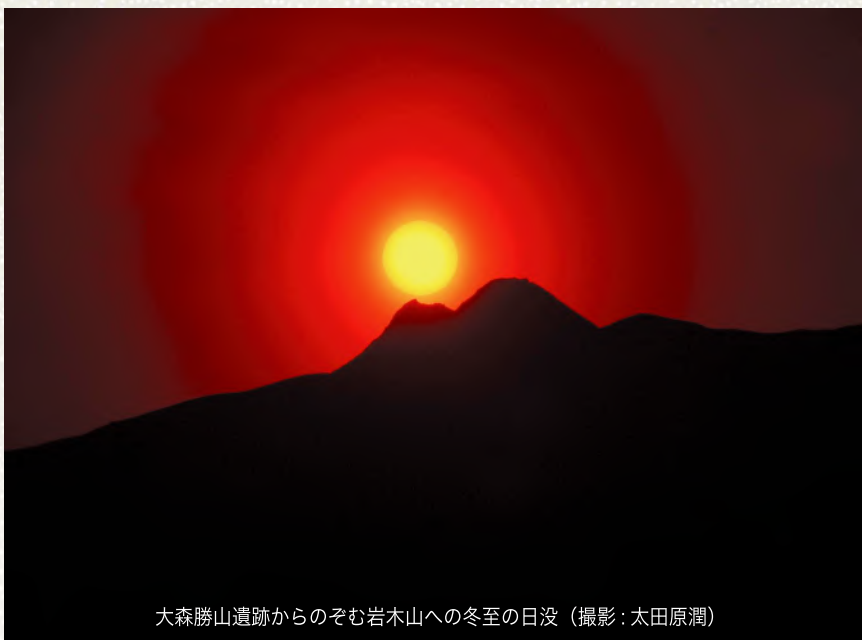
ヤマを越えると、ヨソのクニだ。定住的なムラから遠出して戻って帰る旅のはじまりである。近隣集団との交流から、さらに飛び出して遠隔地の存在と情報が縄文人の世界を拡大し、ひいては自らの立場、自己意識を自覚する人間的成長が促される。



大湯環状列石の組石からのぞむ夏至の日没
（撮影：胡江）

視線の向こうに広がるソラもまた縄文論理空間に取り込まれて、コノ世ではない、アノ世の観念あるいは他界観の意識を刺激した蓋然性が高い。まさに縄文人の世界観が宇宙にまで踏み出す契機となったとみる。

ところで、ムラの人工的空間に生活の根拠を据えることによって、自然の秩序から脱却して距離をおけばおくほど、自然の対象化が強められてゆ



大森勝山遺跡からのぞむ岩木山への冬至の日没（撮影：太田原潤）

く。しかも、定住的なムラは、ゆるぎない安定した定点観測地となり、自然の仕組みを認識するのに功を奏した。

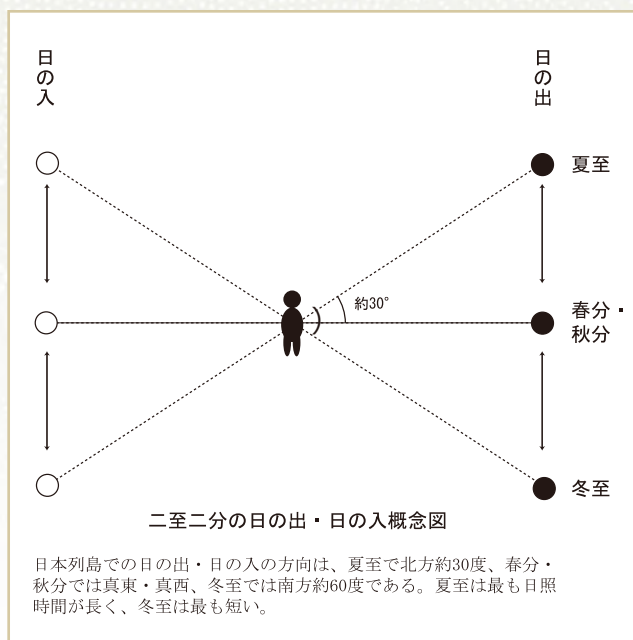
刻々と空が色を変え、山の端の表情を変える、日の出、日の入りは、ときに我々の心ときめかせ感動的である。縄文人とて人の子、同様に心を揺り動かされることがあったに違いない。その確かな証拠がある。

春分秋分では、太陽は真東から上り、真西に沈む。春分が遠ざかると、その位置は日に日に北寄りに動いて夏至に振り切る。その後は踵を返して秋分に至る。その後は南へとずれながら冬至となる。その様子は、ムラの定点観測によつて労せずして日の入りを遠景の山のシルエットなどに重ねて確認できる。梅雨時を経て日足の伸びるのが判る。あるいは、秋の釣瓶落としや木枯らしとともに寒さの日増しにつるのをしみじみ実感するのである。つまり、日の出入りの移動をただ眺めていたわけではない。寒暖の変化や日照時間の長短を体感しながら一年の季節の移ろいの中に二至二分（春分・秋分・夏至・冬至）を節目としていたようである。

その好例は、縄文時代中期の東京西部におけるムラの地理的な位置がよく示している。そのあたり一帯からは顔を向けさえすれば、いつでも日本一の富士山を望むことができるのであるが、縄文人は、ただそれに満足してはいなかったのだ。この重大な事実に気づかせてくれたのは、先輩の加藤有次氏（博物館学）であった。研究室サロンでの何気ない一言を我耳は聞きとがめて逃しはしなかった。今でもなつかしく思い出す。

都立立川高校時代、冬至の日、校舎の屋上から富士山の頂上に日が沈むのを眺めていたというのだ。はっと胸を突き動かされて、直ちに八王子方面をフィールドに活躍する和田哲氏に電話した。忽ち返事が届いた。縄文中期の大規模なムラ遺跡が点々と一直線に並び、その全てが冬至の日の入

り時、太陽が富士山の頂上に落ちてダイヤモンドフラッシュ現象するのを視認できるというのである。さもありなん！快哉を叫んだ。



なかでも、日野市七ツ塚遺跡が注目される。六世紀後半から朝廷の太陽神祭祀を行っていた日奉部の根拠地であり、冬至に火祭りを行っていた事実は、縄文時代以来の冬至の富士山の景観つながりなのである。まさに池澤夏樹『パレオマニア』が繰り返し明言する「過去は現在である」に昌和する。縄文時代は、過去にとどまり終結するのではなく、古代からずっと立川高校の現在にまで息づいていたのである。

同様な視線をさがみ野の縄文人は相模大山にも向けていた。つまり、縄文中期の岡田遺跡は、真西の富士山頂上に春秋分、大山頂上に冬至のダイヤモンドフラッシュを拝んでいたのである。しかも、近接する式内社寒川神社でもまた縄文人の開拓した経験を追体験し続けていたのだ。さらに、夏至の日没を遥拝できる線上に、高部屋神社、鶴

沼皇大神宮、大庭神社旧社地その他の神社がみごとに乗っている。また、広島県厳島神社と弥山の結びつきも周知の事実である。

縄文人は、二至二分を知識としてただに心得ていたというのではない。太陽の運行を縄文世界の中にしっかりと組み込んでいた事実が重要である。縄文世界観の具体的内容は知るよしもない。しかし、抽象的な観念にカタチを与えた造形物がある。それが環状列石ストーンサークル、円形土手、巨木柱列などの記念物モニュメントであり、二至二分を設計の中に組み込んでいたのである。秋田大湯環状列石は夏至の日没、青森大森勝山環状列石は岩木山の冬至の日没、栃木寺野東遺跡の円形石は筑波山の冬至の日没、青森三内丸山の六本柱の夏至の日没と冬至の日没の入りその他複数例がある。これらの記念物の舞台には、しばしば堅穴住居などの日常生活に関わる要素が遠ざけられ、記念物が独立していたりする。しかし、その孤立性こそが聖的な空間をより強くする効果に働いていた。

縄文人の心は、すでに触れた神社の立地などを通じて、現代にまで生き続けていることを改めて知るのである。そして伊勢神宮では内宮入口、宇治橋の鳥居の丁度真中に冬至の日が上ることを付けて加えておこう。



富士山と三保松原図を描いた柄鏡 17世紀
國學院大學博物館蔵（服部コレクション）



四方清祓の儀



祝詞奏上

「神社会館」 天神信仰・伝統文化の発信

◆ 天神信仰の発信基地、憩の場

神社会館の地鎮祭が、六月十日に楼門下梅苑にて行われ、いよいよ本格的工事が開始されました。完成は平成二十九年八月の予定です。歴史上の人物であった菅原道真公の御神霊が北野に鎮められ、一條天皇より「北野天満天神」の神号を賜り神格化され、皇城鎮護の神として崇敬され、やがては天神信仰として全国に広まりました。

この神社会館は、天神信仰の更なる昂揚を目指す情報発信基地として、北野で行われた能・狂言・浄瑠璃・歌舞伎を始めとした種々の伝統芸能や、茶道・華道・連歌・和歌・書道等々の文化的な行事、催事を企画致し、菅公の「和魂漢才」の精神を後世に伝えて参ります。

会館には二百五十人程収容可能な多目的ホールがあり、ここでは伝統芸能の振興を図る場として幅広く提供し、さらに地域と連動した文化行事を開催、春の梅苑、春秋の史跡御土居もみじ苑の開苑中には、茶店と連動した憩の場としての使用が予定されています。

◆ 多様な文化行事を展開

多目的ホールでは、各種文化講演・展示会・発表会や、茶会等の催しが行われる予定です。また神社の恒例行事である書道の天満書や、絵画展、七夕祭等の展示行事、さらに写真展示、太鼓会の活動文化発信として天神信仰発揚の為、天神さまに関する展示・催しが計画中です。全国より来られる数多くの学生・修学旅行生や参拝者が、天神信仰とは、北野の天神様とは、等を知る情報を提供する場です。

又、境内・紅梅殿・別離の庭で行われる文化行事、例えば能・狂言・連歌・謡等の情報を提供、皆様の日本の伝統文化芸能への関心と理解の一助となるよう考慮しています。



千百二十五年半萬燈祭 (平成三十九年) に向けて 「平成の大改修」進む

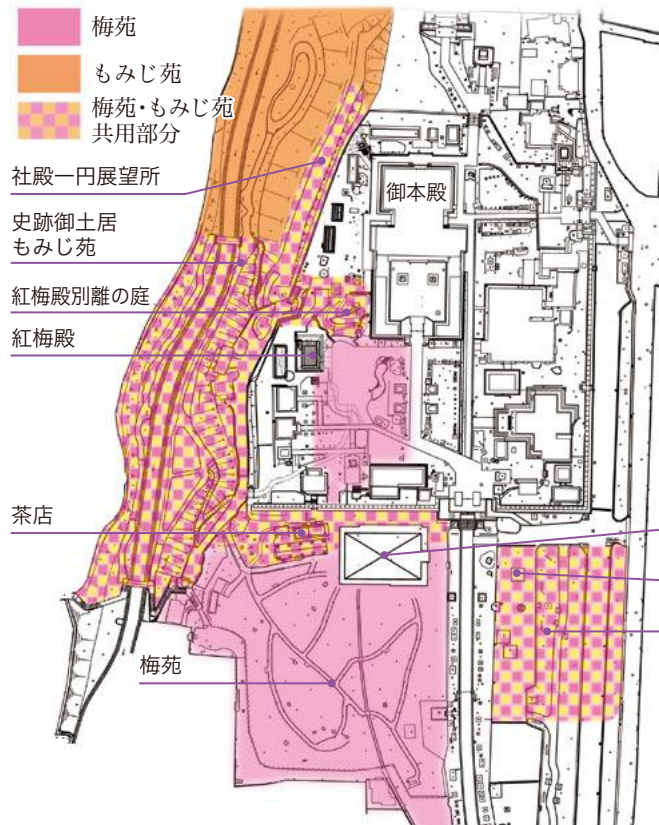
来る平成三十九年に斎行の御祭神菅原道真公千百二十五年半萬燈祭に向けて、現在境内整備事業を進めている中、去る三月に神明社・文子社を遷座。丹塗りも鮮やかに、社殿の修繕が無事に完了した。

境内整備は仮称「神社会館」建設や紅梅殿の庭園整備などを中心に、引き続き進めていく。



【梅と紅葉】

御祭神菅公の愛された梅が馥郁たる香りを境内一円に漂わせる早春。咲き誇る梅を愛で楽しむ梅苑の公開。
秋の紅葉とは違った趣の春の「青もみじ」。史蹟御土居のもみじ苑が春・秋公開されます。紅梅殿・別離の庭と桃山時代を代表する豊臣秀頼公造営の国宝本殿。四季の移ろいと共に景色を変える景観をお楽しみ下さい。



御本殿



三光門

(仮称) 神社会館
1階：文化発信の中心として

太閤井戸

大茶湯跡地 (将来整備予定)



もみじ苑 (鶯橋)



(仮称) 神社会館イメージ図



梅苑



社殿一円展望所より望む



北野天満宮と御手洗祭

歴史ある北野天満宮の御手洗祭

御祭神菅原道真公の詠まれた「ひこ星の行あひをまつかさぎの渡せる橋をわれにかさなむ」。七夕を詠まれた詩です。

当宮の七夕神事は、室町時代以前の記録にも見られる伝統ある祭典で、御手洗祭と呼ばれ、毎年旧暦七月七日に行われる朝廷官人にとつての重要なお祭りとして行われてきました。

この祭典は、春から夏への節目に菅公のご神前にて御手洗の御祓を受け、延命長寿・無病息災を祈願したと伝えられています。

そして、御祭神に七夕の詩をお詠み戴くため、内陣に菅公の御遺愛と伝わる「松風の硯」を始め、角盥・水差し・梶の葉を用意し、季節の夏野菜や、素麺・みたらし団子等をお供えし祭典を斎行します。

七夕祭は乞功奠とも

呼ばれ、七夕の夜、織姫と牽牛の故事により詩歌や芸上達が願われ、現在では「一年に一度、願い事をすると必ず叶う」という信仰につながっています。

当宮周辺は機織りで有名な西陣の町だけに、機織りの祖神である「天棚機姫神」をたなばた様と称しており、七夕信仰は根強く「天神様の七夕」として親しまれています。



七夕神事秘文



松風の硯・角盥・水差し

学業大祭斎行

参拝のお子様は学業鉛筆を無料進呈
斎行日時／八月一日(土) 午前十二時

昭和二十七年、御祭神菅原道真公千五十年祭で、学問の神・菅公の御遺徳を偲び、学業信仰の発揚を祈念する「勸学大祭」を斎行した記録が残る当宮で、日々の学業成就と入試合格を祈願する学業大祭を、およそ六十年ぶりに再興します。

夏休みで学業に励むお子様たちに、天神さまの特製学業鉛筆を進呈。



★七夕学業大祭、参拝のお子様に学業鉛筆を無料進呈

開催日／8月1日／午前11時／北野天満宮(数に限りがあります)

★上七軒七夕盆踊り

8月1日／午後5時／上七軒歌舞練場横駐車場

★史跡・御土居の特別公開・鶯橋、境内特別ライトアップ

8月1日／10日／日没後午後9時／北野天満宮

★京の七夕特別展

8月1日／10日／午前9時／午後7時／北野天満宮宝物殿

★七夕和太鼓コンサート

8月1日／午後6時頃／上七軒歌舞練場横駐車場

8月8日／午後6時頃／北野天満宮

★願いうそくと御燈明の特別授与

8月1日／10日／北野天満宮

★みんなの願いを天神さまに届けようプロジェクト

8月1日／10日／北野天満宮境内・上七軒歌舞練場

★和装(浴衣姿)の参拝者に特製しおり3枚セットを無料進呈

8月1日／10日／午前9時／午後9時／北野天満宮

★泣く子は育つ「七夕子ども泣き相撲」

8月8日／北野天満宮

※首がすわった2歳前後までの男女／参加者募集



「北野七夕祭」が新たに参加 「京の七夕」に 子ども泣き相撲など多彩な催し

京都の新しい風物詩として定着しつつある「京の七夕」に協賛し、今年から当宮界限を中心として「北野七夕祭」を開催します。

北野紙屋川七夕祭実行委員会（上七軒歌舞会・上七軒匠会・北野門前菅公会・北野天満宮神若会・北野天満宮）の主催で、「みんなの願いを天神さまに届けよう」をテーマとしています。

「京の七夕」は、平成二十二年から「願い」をテーマに京都市が中心となつて旧暦の七夕に合わせて毎年八月上旬から十日間（今年は一日から十日まで）鴨川・堀川両会場で行つており、毎年七十万人以上の来場者でにぎわっています。そこに今年から「北野紙屋川会場」として新加入することになったもので、さらなるにぎわいが期待されています。

京都で最も七夕にゆかりある北野天満宮を中心に、界限一円で期間中各種の催しを行います。

「みんなの願いを天神さまに届けよう」プロジェクト

みんなの願いを短冊に書いて天神さまに届けましょう。

子どもたちが自分の願いごとを書いた五色の短冊や吹き流し、折り紙などを飾り付けた数十本の青竹の七夕飾りが会場を飾ります。一年に一度、願いが叶うのが七夕祭です。親子で北野七夕祭に参加し、お楽しみください。

泣く子は育つ「七夕子ども泣き相撲」（八月八日）

平安時代、相撲は七夕の行事として行われおり、宮中では相撲節会が行われていました。菅公の先祖である野見宿彌が「相撲の祖」と仰がれていることから、子どもの健やかな成長を願い、今年初めて「七夕子ども泣き相撲」を開催します。

天神さん 思い出写真館

今号は、昭和二十七年春に斎行された千五十年大萬燈祭の折、本殿前の中庭で奉納土俵入りをした二人の横綱の写真を紹介しよう。上が三十六代の羽黒山、下が三十八代の照国である。

実は、この時の奉納土俵入りは他に東富士（四十代）、千代の山（四十一代）と、当時の四横綱揃って行っているが、千代の山、東富士の両横綱の写真は、旧社報の『天神さん昔の風景』で紹介済みなので、残りの二人の紹介である。

羽黒山は新潟県出身で、入門後四年で幕内に上がり、当時としては異例のスピード出世で人気を呼び、幕内優勝回数は七回。また、照国は秋田県出身で、「秋田の怪童」と呼ばれ、二十三歳と四カ月で横綱に昇進、当時の最年少横綱の記録を塗り替えた。幕内優勝回数は二回。二人とも、この奉納土俵入りの翌年に引退している。

まだNHKのテレビが開設されていない時代に活躍した二人だけに、この顔に見覚えがあるのは、かなりの年配で、かつ相撲通といえる。



史跡御土居の紅葉

〈菅公御歌〉

このたびは 幣もとりあへず 手向山
紅葉の錦 神のまにまに

◎もみじ苑公開 十月二十五日(日)～十二月六日(日)

◎開苑時間 午前10時～午後4時

※ライトアップ期間中は午前九時開苑

◎もみじ苑ライトアップ 十一月十四日(土)～十二月六日(日)

◎入場料 大人七〇〇円・こども 三五〇円 (茶菓子付き)

史跡御土居のもみじ苑公開 北野天満宮

Special opening of
KITANO-TENMANGU

平成27年
10月25日(日)～12月6日(日)

【入苑時間】午前10時～午後4時(ライトアップ期間中は午前9時開苑)
【入苑料(茶菓子付き)】大人700円・こども350円

◎もみじ苑・境内ライトアップ 夜間特別拝観

11月14日(土)～12月6日(日)

【入苑時間】日没～午後8時 【入苑料】大人700円・こども350円

10月25日(日)

紅梅殿こけら落とし

市川海老蔵奉納舞

詳しくは北野天満宮公式WEBサイトををご覧ください。



ようこそ、天神さまの総本社へ
北野天満宮

北野天満宮へのお越しは市バスが便利

10 50 51 55 101 102 203 系統 北野天満宮前 下車

お問い合わせ

075-461-0005

北野天満宮は、菅原道真公(菅公)をお祀りした神社の総本社で、天暦元年(九四七)に創建されて以来、「北野の天神さま」と呼ばれ多くの人々に親しまれてきました。

境内西側には、天正十九年(一五九二)豊臣秀吉公が洛中洛外の境界として、また水防のために築いた土塁「御土居」の一部が残り、史跡に指定されています。

その史跡御土居には、現在でもかつてからの自然林が残り、四季折々の美しさを感じることができます。

なかでも、秋の紅葉は菅公がこよなく愛でられた梅と同様に御緑の樹木で、御土居一帯におよそ二五〇本。樹齢三五〇年から四〇〇年に及ぶ古木が姿を残し、菅公の御神徳を偲ぶがごとく鮮やかに季節を彩ります。

また、御土居には、かつて紙漉き場であった紙屋川が流れており、赤や黄に見事に染まった木々が水面に映えわたり、見るものを錦秋の世界へと誘います。





市川海老蔵 奉納舞「延年之舞」を披露

菅原道真公の邸第ゆかりの「紅梅殿」修繕完成記念

深く、歌舞伎興行の中心的な場所として親しまれています。
歌舞伎とは深いご縁で結ばれている北野天満宮で、菅公邸第ゆかりの「紅梅殿」移築修繕を記念して、市川海老蔵さんによる奉納舞が披露されます。
日時／十月二十五日（日）
※詳細は秋ごろに当宮公式HPにて公開致します。

当宮は慶長八年（一六〇三）に、北野松原で歌舞伎を演じた記録が残り、境内の能舞台で阿国一座による「茶屋遊び」の上演が伝わるなど、出雲の阿国と縁



もみじ連歌 京都連歌の会



日本舞踊 上七軒歌舞会



北野天神もみじ寄席



御茶壺行列



和太鼓奉納 北野天神太鼓会



オカリナ・和歌弾き語り

もみじ苑公開中の行事

10月25日（日）	未 定	市川海老蔵 奉納舞	紅梅殿
	終 日	御縁日	境内一円
10月29日（木）	14:00	余香祭 献詠歌披講式	本殿
11月3日（火・祝）	13:00	北野天神もみじ連歌会 京都連歌の会	紅梅殿
11月14日（土）	17:00	日本舞踊奉納 上七軒歌舞会	もみじ苑内舞台
	18:00	和太鼓奉納 北野天神太鼓会	本殿前中庭
11月21日（土）	17:00	アンサンブル 京都三大学合同交響楽団	紅梅殿
11月22日（日）	14:00	露の五郎兵衛碑前祭	中の森石碑前
	15:00	北野天神もみじ寄席 露の五郎兵衛一門	社務所大広間
	18:00	和太鼓奉納 北野天神太鼓会	本殿前中庭
11月25日（水）	終 日	御縁日	境内一円
	17:00	オカリナ・和歌引き語り 阿武野逢世／鈴江先子	紅梅殿
	18:00	和太鼓奉納 北野天神太鼓会	神楽殿
11月26日（木）	10:45	御茶壺奉献奉告祭・口切式	参道・本殿
11月28日（土）	18:00	和太鼓奉納 北野天神太鼓会	本殿前中庭
12月1日（火）	10:00	献茶祭 武者小路千家官休庵 千宗守宗匠	本殿・茶席各所

※都合により急遽変更中止する場合があります。

北野の



斎行された祭典・行事

〔四月～七月〕

晴れやかに明祭を斎行
神前に無実の喜びを奉告

御祭神菅原道真公の冤罪が晴れた日に当たる四月二十日、喜びを神前に奉告する明祭を午前十時から本殿で斎行した。

菅公は従二位右大臣の位にあった昌泰四年（九〇二）正月、左大臣藤原時平の讒言によって無実の罪をきせられ、大宰権帥に左降、失意の中、二年後の延喜三年（九〇三）二月二十五日、大宰府において薨去された。



明祭

しかし、二十年後の延長元年（九二三）四月二十日、冤罪は晴れて右大臣に復され、位も一階級上げて正二位が贈られ、左降を命じた文書はその日のうちに焼却された。

その後、正暦四年（九九三）六月に正一位左大臣、同年閏十月には太政大臣が追贈されている。

文子天満宮例祭 氏子区域内を神輿巡行



神幸祭

地域の人たちに「文子さん」「文子まつり」と親しみを持つて呼ばれている末社文子天満宮の例祭が四月十六日から十九日まで四日間にあわって斎行された。

菅公が大宰府で薨去されて三十九年後の天慶五年（九四二）七月、西ノ京に住む多治比文子という女性が「右近の馬場（現在の当宮の鎮座地）にわれを祀れ」との神託を受けた。しかし、文子は家貧しく北野の地に菅公をお祀りすることができず、自宅の近くに小祠を造ってお祀りした。

五年後の天暦元年、近江の国の比良宮の神主神良種の子、太郎丸にも同じ神託があり、文子・良種・北野朝日寺の僧最珍らが力を合わせ、同年六月九日に現在地に当宮を創建した。

文子天満宮は、文子が最初に菅公をお祀りした社で、明治初期に当宮境内の現在地に遷された。

神幸祭の十六日は、午後二時から文子天満宮で出御祭を斎行し、御神霊が遷された神輿は、神職や西之京瑞饋神輿保存会の人たちに供奉されて同天満宮御旅所（上ノ下立売通天神道上ル）まで渡御した。

還幸祭の十九日は、午後一時から御旅所を出御祭を斎行、神輿は再び保存会の人たちに護られて氏子区域を巡行、文子天満宮へ還幸した。この日は、時折雨が降るとの予報が出ており、空模様が心配されたが、曇り空ながら巡行中は降らず保存会の人たちを喜ばせた。



還幸祭

江戸時代の賣茶翁が茶祖

賣茶本流献茶式

煎茶の賣茶本流献茶式が四月十二日午前十時から本殿で斎行された。

賣茶本流は、江戸時代中期、賣茶翁の名で呼ばれた高遊外を茶祖とする煎茶道で、当宮での献茶式は昭和二十七年以来毎年行われている。

社中の方が参列される中、家元の渡邊琢祥宗匠の奉仕によって神前に煎茶が献上された。式典後、明月舎に茶席が設けられた。



賣茶本流献茶式

「雷除大祭」お守・お札の授与でにぎわう

摂社火之御子社例祭

「雷除大祭」の名で知られる摂社火之御子社の例祭を六月一日午前四時から斎行した。

火雷神を祀った火之御子社は、天神地祇を祀る摂社地主神社などと並んで当宮が天曆元年（九四七）に鎮座するより前からこの地にあった古社で、「北野の雷公」と称せられ、雷電・火難・五穀豊穡の守護神として朝廷からも篤い崇敬を受けた。現在では雷除けの信仰が主流となり、この日は、電力会社を始め電気工事の従事者、釣り人、ゴルフ愛好者の参拝者がとくに多い。

祭典は、開門前の暁闇の中で斎行され、古式によって火打石で淨火を点じた後、火之御子社の神前で雷除けのお守・お札のお祓いをし、雷除けと五穀豊穡の祈願をした。

雷除守札は午前五時の開門と同時に授与が始まり終日にぎわいを見せた。恒例の京都産業大学「落語長屋」による落語奉納も、絵馬所の「高座」で行われ、参拝者を笑いの世界に誘った。

雷除大祭



酒造りの安全と業界の繁栄を祈願

献酒祭

ご神前に新酒をに供え五月十三日午前十一時から本殿において献酒祭を斎行した。

室町時代、西ノ京の当宮神人に麴造りの特権（北野麴座）が付与されたことから酒造関係者の崇敬が続いており、献酒祭は恒例の祭典となっている。

酒造組合や酒造会社の代表らが参列し、玉串を捧げ、よい酒ができたことに感謝するとともに、酒造りの安全と業界の繁栄を祈願した。



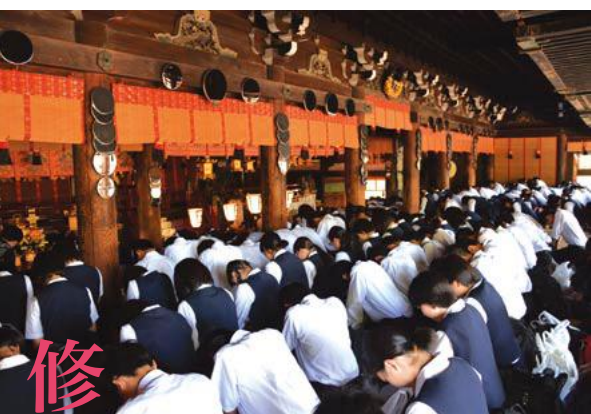
◎献酒戴いた酒造会社・酒造組合は次の通り。（順不同）
 佐々木酒造・松井酒造・宝酒造・増田徳兵衛商店・豊澤本店・黄桜・東山酒造・齊藤酒造・北川本家・山本本家・月桂冠・山本勘蔵商店・京姫酒造・平和酒造・藤岡酒造・キンシ正宗・玉乃光酒造・鶴正酒造・都鶴酒造・招徳酒造・城陽酒造・丹山酒造・関酒造・大石酒造・長老・羽田酒造・浪乃音酒造・平井商店・古川酒造・太田酒造・暁酒造・松瀬酒造・矢尾酒造・愛知酒造・藤居本家・喜多酒造・沢の鶴大阪支店・白鶴酒造大阪支社・本野田酒造・日本盛・北山酒造・白鷹・松竹梅酒造・辰馬本家酒造・國産酒造・万代大澤醸造・大澤本家酒造・大関・今津酒造・櫻正宗・菊正宗酒造・小山本家酒造・灘浜福鶴蔵・剣菱酒造・安福又四郎商店・福德長酒類関西支店・木下酒造・福光屋・三宅本店・奈良豊澤酒造・伏見酒造組合・滋賀県酒造組合・西宮酒造家十日会・灘五郷酒造組合

修学旅行参拝ピーク迎える

中学生を中心とする修学旅行生の昇殿参拝が今年も四月八日から始まった。五月十四日には、一日で七十二クラスの昇殿参拝があるなど六月にかけてピークを迎えている。

本殿前の中庭は、昇殿参拝のご祈禱を待つ中学生らで連日、たいへんなにぎわいとなっており、授与所は入試合格祈願の学業守などを求める学生の行列ができています。（P22からP27に修学旅行特集）

修学旅行



献酒祭

宮渡祭を斎行

北野の現在地に当宮が鎮座された日に当たる六月九日、本殿において午前十時から宮渡祭を斎行した。

太宰府の地で薨去された菅公の御神霊が、北野の地に鎮まりたいと西ノ京に住む多治比文子、近江比良宮の神主神良種の子に二度に亘り御神託をされ、天曆元年（九四七）六月九日、この北野の地に社殿を建立し奉斎した。毎年この日に宮渡祭を斎行、往時を偲んでいる。

宮渡祭



「大福梅」の梅の実採取、初物をご神前にお供え

梅の実採取



二條雅莊家元がお点前

二條流の献茶式

煎茶道二條流の献茶式が六月七日午前十時から本殿で斎行された。

社中の方が参列される中、二條雅莊家元のご奉仕によつてお点前が行われ、神前に煎茶が献上された。式典後、明月舎に茶席が設けられた。

二條流献茶式



正月の縁起物「大福梅」となる梅の実の採取が六月十三日から一週間がかりで行われた。初日は収穫した梅の実の初物をご神前にお供えた。

境内には約五十種・千五百本の梅の木があり、京都市内随一の梅の名所として知られ、毎年二月から三月にかけては観梅の参拝者で大にぎわいとなる。

採取された梅の実は、土用干しされ、正月の縁起物として十二月十三日の事始めから十二月二十五日の終い天神のころまで参拝者に授与される。



夏越天神

夏の健康を願う大茅の輪くぐりにぎわう

御誕辰祭 厳肅に斎行

菅公の御誕生

日に当たる六月二十五日、本殿において御誕辰祭を厳かに斎行した。楼門では恒例の「大茅の輪くぐり」が行われ、夏の健康を願う参拝者で早朝から終日にわたってにぎわった。

毎月二十五日

は天神さまの御縁日だが、とくに御誕生日に当たる六月の御縁日は「夏越天神」と呼ばれ、楼門に取りつけた大茅の輪をくぐって夏の健康を願う信仰が定着している。

御誕辰祭は、前夜から精進潔斎のため神社に参籠していた宮司以下神職の奉仕によって午前九時から本殿で斎行され、祭典後、菅公の母君を祀る伴氏社を巡拝した。

一方楼門の大茅の輪くぐりは、午前五時の開門と同時に始まったが、大茅



御誕辰祭

半年間の罪や穢れを祓う

夏越の大祓式

今年半年間に身についた罪や穢れを祓い清めて清々しく心身を整えて夏を越すことを願う神事、夏越の大祓式を六月三十日午後四時から本殿前中庭で斎行した。

崇敬者や参拝者約七百人が参列し、全員で大祓詞を奏上した後、各人が切麻で邪気を払い、神職を先頭に参列者が背丈ほどの高さの茅の輪を古式通り三回くぐり抜け災厄を祓った。

またこれに先立ち、この半年間に納められた人形・車形代を入れた唐櫃を神職が担ぎ、茅の輪をくぐった。



夏越の大祓式

園児ら笹に願いを込めて七夕祭

本殿では御手洗祭

七夕の七月七日、伝統の御手洗祭・棚機祭（七夕祭）を斎行した。

菅公が「ひこ星の行あひをまつかささぎの渡せる橋をわれにかさなむ」と、七夕の御歌を詠まれた故事にちなみ、当宮では古くから七夕行事を斎行した記録があり、神事は御手洗祭と称され、重要祭典の一つとされてきた。

御手洗祭は午前十時から本殿で、菅公御遺愛と伝わる「松風の硯」や夏野菜を供えて斎行した。午後からは境内中ノ森広場において氏子区域の幼稚園児・保育園児約三百人の参列のもと棚機祭（七夕祭）を斎行。色々な願いごとを書いた笹飾りが特設舞台の周囲を飾る中で祭典は進み、園児らは小さな手を合わせ、技芸や文芸などの上達を祈願した。この後歌や遊戯を披露し、保護者や参拝者らの拍手を浴びていた。



大茅の輪くぐり

の輪は、神職・職員が南丹市美山町や京都市右京区京北町から刈り出した茅を青竹に巻き付けたもので、直径約五メートルもある京都では最大級の大きさ。終日、参拝者が絶えることなく次々大茅の輪をくぐって夏の健康と息災を祈願していた。

七夕祭



御本殿正面の大鏡の拓本を発見

鏡の裏には世界地図が彫られていた

当宮境内の校倉から、御本殿正面に掲げてある八咫形大鏡の拓本の掛軸を発見した。

この大鏡は明治十三年五月に村瀬家の二代目嘉右衛門の発起で、当宮の日参永守講の人々により奉納されたもので、大鏡の裏面上部には世界地図。その中央上部には大きく「北野天満大神」の御神号。下部右方に親類縁者、左方に知己朋友を列記、最下部には「山城国住人金森弥輔作」の文字を浮き彫りにした実に見事なものであり、重さは約二〇〇キロ、直径一メートル・厚さ四・五センチにも及ぶ。



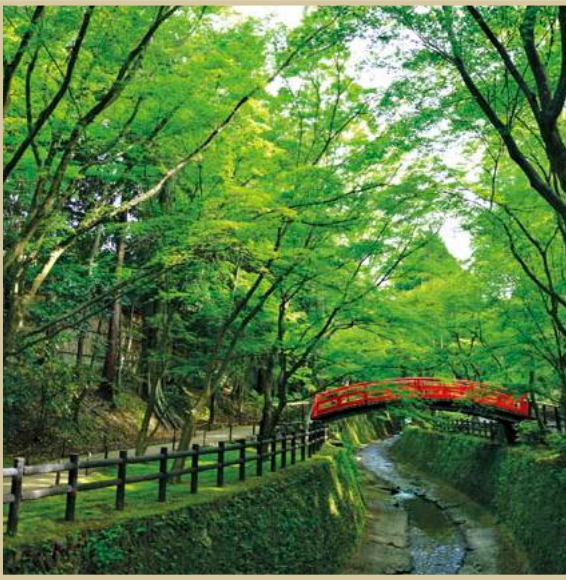
大鏡が奉納された明治十三年頃と言え、文明開化の時代。我が国に西洋文化が入り、生活習慣も大きく変わっていく中で、日本が世界に視野を広げ、国が大きく開けていく、そんな気運高まる中、大鏡の奉納者等は、日本固有の精神文化と外来文化の融合を図るため、「和魂漢才（あるいは和魂洋才とも）」の菅公精神、そして広大な御神徳を世界に宣揚していく事を念頭に置いて、世界地図の中央上部に「北野天満大神」の御神号を刻んで奉納したのではないかと考えられる。

史跡御土居の「青もみじ」初公開

宝物殿拝観券付きが好評にぎわう

これまで春の梅苑公開時と秋のもみじ苑開苑中にしか公開していなかった史跡御土居を五月一日から三十一日まで「青もみじ」と称して初めて公開。宝物殿拝観券が付いており、拝観料と同じ料金で御土居の新緑も楽しめる趣向とあって、連日予想を上回る参拝者の入苑でにぎわった。かねてから「他の季節にも豊臣秀吉の遺構である御土居の自然を見せてほしい」という要望が、とくに他府県の参拝者から多く寄せられていた。御土居一帯には約二百五十本の紅葉があり、中には樹齢三百五十年から四百年に及ぶ古木もある。「青もみじ」が美しいこの季節にその要望に応えようと、今年初の試みとして五月中の公開に踏み切った。

宝物殿と御土居の両方が楽しめるという形が好評を呼んで修学旅行生などの入苑者も多く、「青もみじ」の御土居公開は成功裏に終わった。



「牛」のエンブレムなどが勢ぞろい
超高級車三十一台がお祓いを受ける



ずらりと勢揃いしたランボルギーニ



パーカー三十一台が五月十日、当宮に勢ぞろいし、交通安全のお祓いを受けた。

和歌山県内の外国製スーパーカーの所有者でつくる和歌山インポートカークラブ（野井和重会長）の呼びかけに応じ、同クラブ員と名古屋方面からの愛好家が集った。

イタリア車のランボルギーニのエンブレムに天満宮の御祭神のお使いと同じく牛が使われているところから当宮で交通安全を祈願することになった。

約五十人が昇殿参拝した後、牛舎に交通安全の願いを書いた絵馬を掛け、

駐車場に停めた車のお祓いを受けた。お祓いを受けた車は、ランボルギーニを中心にフェラーリやポルシェなど一台数千万円の超高級車ばかりで、参拝者の注目を集めていた。

野井会長は「天神さんの御利益を受けて一層安全運転に努めたい」と話していた。



天神様の神使である牛 牛を象ったランボルギーニのエンブレム

京都ライトハウスの募金活動に絵馬所を提供

縁日の参拝者に
「福祉マッサージ」

社会福祉法人「京都ライトハウス」（京都市北区）が老朽化した施設の建て替えのために

行っている募金活動に当宮も協力。縁日の四月二十五日、絵馬所でマッサージの資格を持つ視覚障がい者約二十人が参拝者に安価でマッサージの施術をするチャリティイベントが行われた。



「京都ライトハウス」は、創立五十年を超える視覚障がい者の総合施設。老朽化した盲養護老人ホームの建て替えに併せて特別養護老人ホーム建設の計画を進めており、安価でマッサージの施術をし、その収益金を全額建設資金に充てる絵馬所でのこの日の催しには、約二百五十人の参拝者が気持ち良さそうにマッサージを受けた。

絵馬所は、募金活動などへの場所提供を断っているが、今回のチャリティイベントは、地域の象徴としての、天神さんの活動に合致するものであり、京都北ロータリークラブの協力もあって実現した。

〈お問い合わせ〉TEL 〇七五（四六二）四四〇〇

交通安全も作法が大事！
春の全国交通安全運動
「交通安全守りまっちゃん」開催

初夏の日差しも清々しい

五月十七日、午後一時半より地元の上京警察署並びに上京交通安全協会が主催となり「交通安全守りまっちゃん」を当宮絵馬所で開催した。

この行事は京都市上京区役所をはじめとする関係機関・団体が連携し、春の全国交通安全運動を広くアピールし、交通安全の気運を高め、地域の子供連や高齢者の交通事故防止の徹底を図るために実施されたイベント。

当日は地域の高齢者約二百名が参加。上京警察署長・上京区長による式典挨拶にはじまり、次に上京警察と地活委員による交通安全事故防止を呼び掛ける交通安全コントを披露。その後は翔鸞学区お茶クラブによるお茶会や上七軒の舞妓さんも参加しての交通安全事故防止啓発チラシを配布し、



交通安全チラシを配布する上京区長と上七軒の舞妓さん

日曜日で訪れた多くの参拝者に交通安全の理解と協力を求めた。



七月二十五日

新茶奉獻奉告祭

宇治・宇治田原・木幡・城陽・佐山・京田辺・和束・醍醐・伏見・向島・綴喜・山城・南山城の茶所より摘まれた新茶を神前に供え、献茶家の家内安全と繁栄を祈願する。



八月四日

例祭（北野祭）

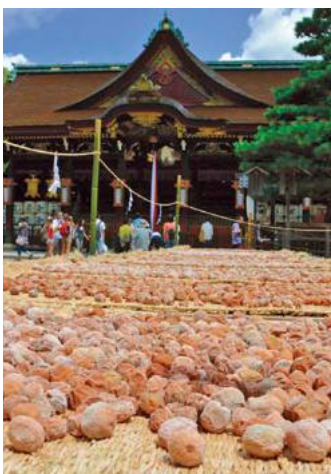
永延元年九八七八月五日、北野社に一條天皇が勅使を参向され「北野天満天神」の神号が与えられ、北野祭を勅祭とされた。寛弘元年（一〇〇四）一條天皇が初めて北野社に行幸、爾来歴代天皇の行幸は二十数度に亘る。例祭は往時より当神社の最も重要な祭典で、八月四日に変更され現在に至り、大祭式で斎行されている。



七月中旬～八月中旬

大福梅の土用干し

正月の縁起物として事始め（十二月十三日）から授与する「大福梅」調製の梅の実を、梅雨明けを待つて神職・巫女総がかりで土用干しする。



七月十五日

自衛消防訓練

夏の文化財防火デーにあたる七月中旬、当宮において上京消防署と当宮自衛消防隊・翔鸞学区自主防災会・翔鸞消防分団などの連携による防火訓練を行う。





祭事暦（7月1日～9月30日）



[7月]

7月1日	午前10時	月首祭
2日	午後1時半	北野天満宮講社大祭
6日	午後4時	御手洗祭前夕饗
7日	午前10時	御手洗祭
	午後1時半	棚機（七夕）祭
12日	午前10時	當日祭
15日	午前10時	月次祭
25日	午前9時	月次祭
	午前11時	新茶奉献奉告祭
	午後4時半	夕神饗

[8月]

8月1日	午前10時	月首祭
	午前11時	七夕学業大祭
4日	午前9時	例祭（北野祭）
15日	午前10時	月次祭
25日	午前9時	月次祭
	午後4時半	夕神饗
30日	午後3時	奉納図画展授賞式

[9月]

9月1日	午前10時	月首祭
15日	午前10時	月次祭
23日	午前10時	秋季皇霊祭遙拝式
24日	午前9時	神輿飾り
25日	午前9時	月次祭
	午後4時	夕神饗
26日	午後4時	稚児奉仕者奉告祭
27日	午後4時	明月祭



月釜献茶（7月1日～10月31日）



[7月]

7月1日	献茶祭保存会	多門 宗粒	（明月舎）
12日	梅交会	合 同 茶 会	（松向軒）
15日	献茶祭保存会	速水滌源居	（明月舎）
	松向軒保存会	山田 宗代	（松向軒）
26日	紫芳会	今村 宗幸	（松向軒）

[8月]

8月1日	献茶祭保存会	村上 宗美	（明月舎）
9日	梅交会	休 会	（松向軒）
15日	献茶祭保存会	休 会	（明月舎）
	松向軒保存会	休 会	（松向軒）
23日	紫芳会	休 会	（松向軒）

[9月]

9月1日	献茶祭保存会	平井 宗紫	（明月舎）
13日	梅交会	扶 桑 会	（松向軒）
15日	献茶祭保存会	久 田 社 中	（明月舎）
	松向軒保存会	東京嘉松会	（松向軒）
27日	紫芳会	中村 瑛治	（松向軒）

[10月]

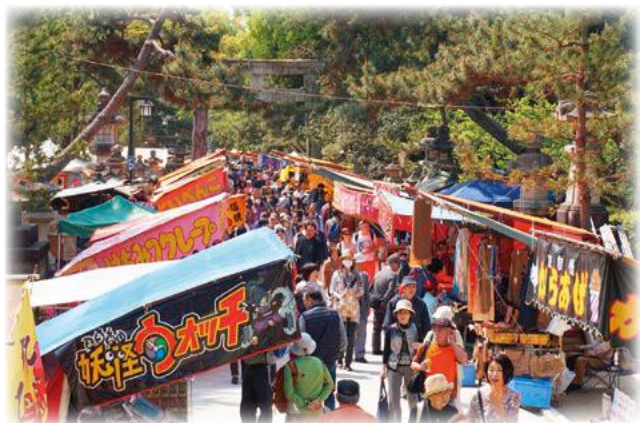
10月1日	献茶祭保存会	金澤 宗維	（明月舎）
11日	梅交会	吉岡 宗美	（松向軒）
15日	献茶祭保存会	堀 内 社 中	（明月舎）
	松向軒保存会	札幌佳松会	（松向軒）
25日	紫芳会	紫 芳 会	（松向軒）



夏休み恒例となっている奉納図画展が八月中旬より西廻廊で開催され、子供たちが描いた力作を展示する。

奉納図画展

八月中旬



毎月二十五日は「天神さんの日」。境内には所狭しと露店や骨董、植木や古着を扱うお店がズラリ！夜は社殿が特別ライトアップされ幻想的な空間を演出するほか、天神太鼓会による和太鼓の奉納を行う。

御縁日

毎月二十五日





修学旅行の聖地、北野天満宮



年々増加する修学旅行生の昇殿参拝

神前に熱い願い込め

年々増加している修学旅行生の昇殿参拝が、今年も五月十四日に一日七十二クラスを記録するなどピークを迎えた。「志望校に合格できますように」「成績が上がりますように」などと、連日、神前に手を合わせ、熱い願いを込める若者らの真剣な姿であふれている。

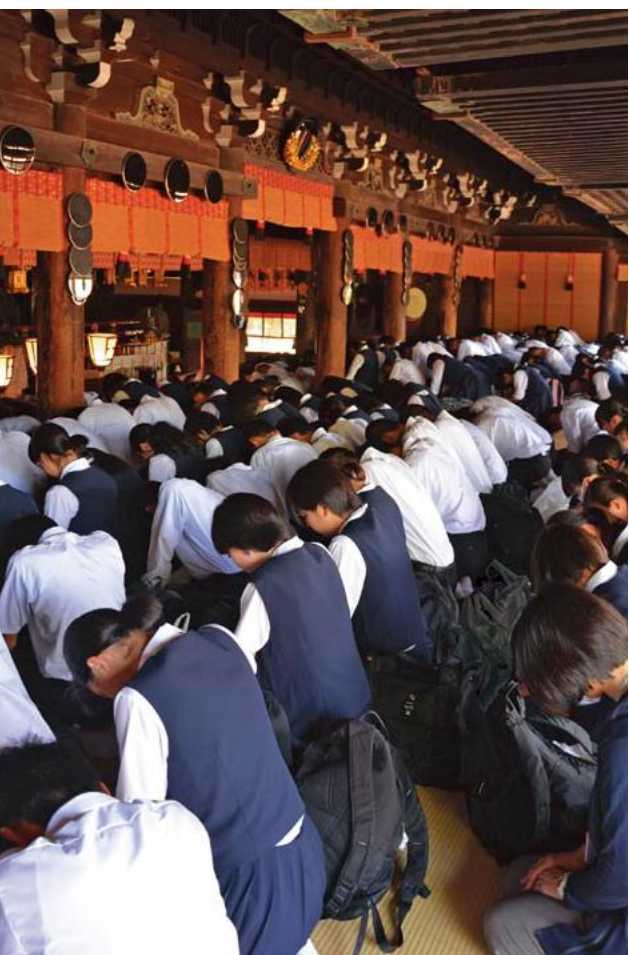
修学旅行生の昇殿参拝は、中学・高校生が多く、毎年春と秋が中心だが、とくに春は多い。今年四月に昇殿参拝したクラスは、三百五十七クラスで、昨年よりも増加。

五月は十四日の一日七十二クラスという記録的な昇殿参拝数があり、月間七百三十四クラスにのぼった。

六月は六百七十七クラスと五月よりは少し減ったものの、まだまだ多い数字となっている。

また、スケジュールなどの都合によって昇殿参拝できず、本殿前で手を合わせた後、一願成就の牛舎で絵馬を奉納したり合格祈願のお守りを受けて行くといった自由参拝の学校も多い。

このほか、タクシーやバスなどによる班別参拝などもあり、この季節、当宮は修学旅行生の聖地であることを実感させる。





神職手作りのDVD「修学旅行案内」が完成

～限られた参拝時間の修学旅行生のために
全国の小・中・高校に配布～

当宮は年間八千校もの小・中・高校が修学旅行に訪れる。多忙な行程で参拝時間が限られている修学旅行生にむけて、神社をより理解してもらうと、神職が一年がかりで制作を進めてきたDVD「修学旅行案内」が四月末に完

成した。

近年当宮では修学旅行生の参拝増加に伴って、神社の歴史や御祭神についての問い合わせが多く寄せられていることから、事前に当宮のことを学習し、より神社を知ってもらうことを目的に案内DVDを制作した。



神職手作りのDVD「修学旅行案内」

DVDの内容は、菅公のご生涯から北野天満宮創建、天神信仰の始まりから、今日の学業信仰までの歴史を解りやすく紹介。四季折々の美しい境内の景観、さらに北野にまつわる様々な伝説や千有余年の天神信仰を物語る神宝の数々、授与品やご祈祷案内に至るまで収録し、上映時間は約二十分。参拝を考えている学校や問い合わせの学校などにすでに配布を始めており、今後も全国の小・中・高校を中心に配布する予定。

◆修学旅行参拝者

(平成二十七年四月一日～七月十五日)「但し、お申し出を頂いた数」

四月	昇殿参拝	一五三校	三五七クラス	自由参拝	二二八校
五月	昇殿参拝	二七三校	七三四クラス	自由参拝	四四三校
六月	昇殿参拝	二五〇校	六〇七クラス	自由参拝	三七四校
七月	昇殿参拝	三一校	七四クラス	自由参拝	六〇校
合計	昇殿参拝	七〇七校	一七七二クラス	自由参拝	一一〇五校

※その他、タクシー参拝・班別参拝等を合わせると、およそ三十万人の修学旅行生の方々が参拝されました。

此の度の参拝を心の支えとされ、また天神さまのご加護により
ご祈願の成就をお祈り申し上げます。



修学旅行特別昇殿参拝学校一覧

●北海道

千歳市立千歳中学校
三クラス
千歳市立向陽台中学校
一クラス

●青森県

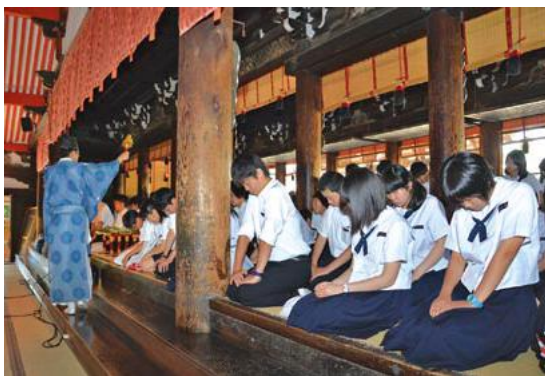
平内町立西平内中学校
一クラス

●宮城県

古川学園中学校
二クラス

●福島県

いわき市立小名浜第二中学校
五クラス
いわき市立植田中学校
二クラス
大熊町立大熊中学校
一クラス
楡葉町立楡葉中学校
一クラス



●茨城県

つくばみらい市立谷和原中学校
二クラス
ひたちなか市立阿字ヶ浦中学校
一クラス
ひたちなか市立那珂湊中学校
四クラス
ひたちなか市立勝田第一中学校
一クラス
ひたちなか市立田彦中学校
四クラス
ひたちなか市立勝田第三中学校
三クラス
下妻市立千代川中学校
三クラス
笠間市立岩間中学校
四クラス

笠間市立南中学校
結城市立結城東中学校
結城市立結城南中学校
古河市立古河第三中学校
古河市立古河第二中学校
高萩市立高萩中学校
坂東市立東中学校
桜川市立大和中学校
取手市立藤代南中学校
小美玉市立美野里中学校
常総市立水海道中学校
常総市立水海道西中学校
常陸太田市立太田中学校
常陸太田市立瑞竜中学校
常陸太田市立里美中学校
常陸大宮市立山方中学校
常陸大宮市立明峰中学校
常陸大宮市立第二中学校
常陸大宮市立大宮中学校
水戸市立常澄中学校
水戸市立笠原中学校
水戸市立見川中学校
水戸市立緑岡中学校
水戸市立第四中学校
水戸市立第二中学校
水戸市立双葉台中学校
水戸市立第三中学校
水戸市立第一中学校
水戸市立内原中学校
水戸市立飯富中学校
水戸市立第五中学校
筑西市立下館南中学校
筑西市立下館北中学校
筑西市立明野中学校
土浦市立新治中学校
茨城町立青葉中学校
茨城町立明光中学校
城里町立常北中学校
東海村立東海南中学校
那珂市立瓜連中学校
茨城県立茨城学園中部

一クラス
四クラス
四クラス
三クラス
五クラス
一クラス
二クラス
二クラス
四クラス
四クラス
一クラス
一クラス
一クラス
一クラス
一クラス
一クラス
二クラス
一クラス
三クラス
七クラス
五クラス
四クラス
四クラス
四クラス
三クラス
一クラス
一クラス
一クラス
一クラス
一クラス
一クラス
二クラス
一クラス

●栃木県

那珂市立第一中学校
五クラス
日立市立久慈中学校
二クラス
日立市立助川中学校
三クラス
日立市立十王中学校
一クラス
日立市立日高中学校
二クラス
日立市立駒王中学校
三クラス
日立市立豊浦中学校
三クラス
日立市立滑川中学校
五クラス
日立市立河原中学校
二クラス
北茨城市立磯原中学校
二クラス
北茨城市立関本中学校
一クラス
北茨城市立中郷中学校
二クラス
龍ヶ崎市立城南中学校
一クラス

宇都宮市立一条中学校
一クラス
宇都宮市立横川中学校
一クラス
宇都宮市立瑞穂野中学校
一クラス
宇都宮市立田原中学校
三クラス
宇都宮市立豊郷中学校
六クラス
宇都宮市立陽北中学校
一クラス
宇都宮市立若松原中学校
五クラス
宇都宮大学教育学部附属中学校
一クラス
宇都宮市立国本中学校
一クラス
宇都宮市立雀宮中学校
五クラス
宇都宮市立星が丘中学校
四クラス
宇都宮市立姿川中学校
二クラス
宇都宮市立陽東中学校
五クラス
宇都宮市立泉が丘中学校
七クラス
宇都宮市立古里中学校
一クラス
宇都宮市立河内中学校
三クラス
宇都宮市立上河内中学校
三クラス
宇都宮市立宮の原中学校
一クラス
宇都宮市立旭中学校
二クラス
宇都宮市立清原中学校
四クラス
塩谷町立塩谷中学校
一クラス
高根沢町立阿久津中学校
六クラス
壬生町立壬生中学校
三クラス
壬生町立南大飼中学校
一クラス
下野市立南河内第二中学校
四クラス
下野市立国分寺中学校
三クラス
下野市立石橋中学校
五クラス
下野市立南河内中学校
三クラス
上三川町立上三川中学校
四クラス
上三川町立明治中学校
二クラス

佐野市立田沼西中学校
一クラス
鹿沼市立栗野中学校
一クラス
鹿沼市立西中学校
三クラス
鹿沼市立北中学校
三クラス
鹿沼市立北押原中学校
二クラス
小山市立大谷中学校
五クラス
小山市立間々田中学校
四クラス
小山市立小山第三中学校
二クラス
小山市立小山中学校
四クラス
小山市立桑田中学校
一クラス
小山市立豊田中学校
二クラス
小山市立小山城南中学校
七クラス
真岡市立久下田中学校
二クラス
真岡市立山前中学校
二クラス
真岡市立真岡西中学校
三クラス
真岡市立長沼中学校
一クラス
真岡市立真岡東中学校
一クラス
真岡市立大内中学校
二クラス
真岡市立真岡中学校
四クラス
足利市立愛宕台中学校
一クラス
大田原市立湯津上中学校
一クラス
大田原市立大田原中学校
七クラス
栃木市立皆川中学校
一クラス
栃木市立大平南中学校
三クラス
栃木市立都賀中学校
二クラス
栃木市立藤岡第一中学校
二クラス
栃木市立藤岡第二中学校
一クラス
栃木市立栃木西中学校
一クラス
栃木市立栃木南中学校
三クラス
那須烏山市立南那須中学校
五クラス
那須烏山市立小川中学校
二クラス
那珂川町立馬頭中学校
一クラス
日光市立日光中学校
一クラス
日光市立豊岡中学校
四クラス
日光市立今市中学校
三クラス
日光市立東中学校
一クラス
日光市立足尾中学校
二クラス
日光市立大沢中学校
二クラス
日光市立小来川中学校
一クラス
益子町立益子中学校
二クラス
市貝町立市貝中学校
一クラス
芳賀町立芳賀中学校
一クラス
茂木町立中川中学校
一クラス
茂木町立茂木中学校
一クラス

●群馬県

みどり市立笠懸南中学校
三クラス
みどり市立東中学校
一クラス
安中市立第一中学校
三クラス
安中市立第二中学校
二クラス
安中市立松井田北中学校
一クラス
伊勢崎市立赤堀中学校
二クラス
伊勢崎市立宮郷中学校
七クラス
伊勢崎市立あづま中学校
四クラス
伊勢崎市立第二中学校
六クラス
伊勢崎市立第一中学校
一クラス
甘楽町立第一中学校
二クラス
館林市立多々良中学校
二クラス
桐生市立新里中学校
四クラス
桐生市立相生中学校
三クラス
嬬恋村立嬬恋中学校
二クラス
長野原町立西中学校
一クラス
高崎市立高松中学校
二クラス
高崎市立高南中学校
一クラス
高崎市立佐野中学校
六クラス
高崎市立榛名中学校
二クラス
高崎市立新町中学校
一クラス
高崎市立倉賀野中学校
一クラス
高崎市立大類中学校
一クラス
高崎市立八幡中学校
一クラス
高崎市立塚沢中学校
五クラス
高崎市立片岡中学校
二クラス



高崎市立箕郷中学校 三クラス
高崎市立矢中中学校 二クラス
玉村町立南中学校 二クラス
玉村町立玉村中学校 二クラス
前橋市立第七中学校 四クラス
前橋市立東中学校 二クラス
前橋市立荒砥中学校 二クラス
前橋市立南橋中学校 二クラス
前橋市立春日中学校 二クラス
前橋市立桂萱中学校 三クラス
前橋市立みづき中学校 四クラス
前橋市立第六中学校 二クラス
前橋市立芳賀中学校 二クラス
前橋市立宮城中学校 三クラス
前橋市立第三中学校 四クラス
前橋市立大胡中学校 三クラス
藤岡市立東中学校 三クラス
富岡市立南中学校 三クラス
千代田町立千代田中学校 二クラス
みなかみ町立月夜野中学校 三クラス
みなかみ町立水上中学校 二クラス



●埼玉県

さいたま市立木崎中学校 一クラス
さいたま市立大原中学校 一クラス
さいたま市立本太中学校 四クラス
さいたま市立西原中学校 三クラス
さいたま市立城南中学校 一クラス

さいたま市立柏陽中学校 四クラス
さいたま市立岩槻中学校 六クラス
さいたま市立城北中学校 五クラス
さいたま市立大谷中学校 三クラス
さいたま市立七里中学校 三クラス
さいたま市立大砂土中学校 二クラス
さいたま市立上大久保中学校 三クラス
さいたま市立土合中学校 一クラス
さいたま市立指扇中学校 一クラス
さいたま市立馬宮中学校 一クラス
さいたま市立三橋中学校 一クラス
さいたま市立第二東中学校 一クラス
さいたま市立大宮南中学校 三クラス
さいたま市立与野東中学校 二クラス
さいたま市立与野南中学校 二クラス
さいたま市立与野西中学校 四クラス
さいたま市立大谷口中学校 二クラス
さいたま市立内谷中学校 二クラス
さいたま市立岸中学校 一クラス
さいたま市立白幡中学校 一クラス
さいたま市立白幡中学校 二クラス
さいたま市立日進中学校 二クラス
さいたま市立土呂中学校 一クラス
さいたま市立泰平中学校 一クラス
さいたま市立原山中学校 二クラス
さいたま市立尾間木中学校 一クラス
羽生市立西中学校 二クラス
羽生市立南中学校 四クラス
越谷市立中央中学校 一クラス
越谷市立千間台中学校 一クラス
越谷市立富士中学校 二クラス
越谷市立大相模中学校 三クラス
越谷市立北中学校 三クラス
越谷市立武蔵野中学校 一クラス
越谷市立新栄中学校 一クラス
越谷市立平方中学校 二クラス
加須市立加須北中学校 一クラス
加須市立北川辺中学校 二クラス
吉川市立南中学校 三クラス
久喜市立太東中学校 三クラス
久喜市立菖蒲中学校 二クラス
久喜市立久喜東中学校 三クラス
久喜市立鷲宮東中学校 一クラス
久喜市立久喜中学校 二クラス

狭山市立東中学校 二クラス
狭山市立入間野中学校 二クラス
熊谷市立玉井中学校 二クラス
熊谷市立江南中学校 二クラス
熊谷市立富士見中学校 四クラス
熊谷市立妻沼西中学校 一クラス
戸田市立戸田東中学校 四クラス
戸田市立笹目中学校 一クラス
戸田市立新曽中学校 二クラス
幸手市立西中学校 三クラス
鴻巣市立川里中学校 二クラス
鴻巣市立鴻巣西中学校 二クラス
鴻巣市立鴻巣北中学校 一クラス
熊谷市立吉岡中学校 二クラス
三郷市立前川中学校 一クラス
三郷市立南中学校 三クラス
三郷市立彦糸中学校 二クラス
神川町立神川中学校 二クラス
春日部市立葛飾中学校 二クラス
春日部市立春日部中学校 四クラス
春日部市立立東中学校 三クラス
春日部市立緑中学校 五クラス
所沢市立三ヶ島中学校 一クラス
所沢市立山口中学校 二クラス
所沢市立立上手中学校 二クラス
上尾市立上尾中学校 五クラス
上尾市立上平中学校 一クラス
上尾市立大谷中学校 二クラス
上尾市立大石中学校 一クラス
新座市立第三中学校 二クラス
新座市立第二中学校 二クラス
深谷市立南中学校 一クラス
深谷市立岡部中学校 二クラス
深谷市立花園中学校 二クラス
深谷市立深谷中学校 二クラス
川口市立安行東中学校 二クラス
川口市立安行中学校 四クラス
川口市立芝東中学校 五クラス
川口市立西中学校 二クラス
川口市立戸塚中学校 三クラス
川口市立芝中学校 三クラス
川口市立芝西中学校 一クラス
川口市立南中学校 四クラス

川口市立上青木中学校 四クラス
川口市立榛松中学校 四クラス
川口市立幸並中学校 二クラス
川口市立仲町中学校 四クラス
川口市立戸塚西中学校 二クラス
川口市立十二月田中学校 三クラス
川口市立東中学校 三クラス
川口市立元郷中学校 一クラス
川口市立北中学校 三クラス
川口市立八幡木中学校 四クラス
川口市立鳩ヶ谷中学校 四クラス
川口市立里中学校 三クラス
川口市立領家中学校 四クラス
寄居町立寄居中学校 一クラス
朝霞市立朝霞第一中学校 一クラス
宮代町立須賀中学校 二クラス
日高市立高萩中学校 一クラス
入間市立上藤沢中学校 一クラス
白岡市立藤津中学校 三クラス
白岡市立南中学校 三クラス
嵐山町立菅谷中学校 二クラス
杉戸町立東中学校 二クラス
杉戸町立広島中学校 一クラス
杉戸町立杉戸中学校 一クラス
伊奈町立小針中学校 一クラス
北本市立東中学校 五クラス
蕨市立東中学校 三クラス



●千葉県

印西市立西の原中学校 二クラス
印西市立滝野中学校 一クラス
栄町立栄中学校 五クラス
浦安市立浦安中学校 六クラス
浦安市立美浜中学校 五クラス
浦安市立見明川中学校 一クラス
我孫子市立白山中学校 三クラス
鎌ヶ谷市立第五中学校 二クラス
鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中学校 一クラス
市原市立双葉中学校 三クラス
市川市立大洲中学校 三クラス
市川市立福栄中学校 二クラス
習志野市立第二中学校 五クラス
松戸市立旭町中学校 四クラス
松戸市立河原塚中学校 一クラス
松戸市立第一中学校 三クラス
松戸市立古ヶ崎中学校 一クラス
松戸市立第四中学校 五クラス
松戸市立牧野原中学校 二クラス
松戸市立小金北中学校 二クラス
松戸市立小金南中学校 二クラス
松戸市立第二中学校 一クラス
松戸市立小金中学校 四クラス
松戸市立第六中学校 四クラス
成田市立公津の杜中学校 五クラス
千葉市立白井中学校 一クラス
袖ヶ浦市立根形中学校 二クラス
大網白里市立大網中学校 三クラス
一宮町立一宮中学校 二クラス
長南町立長南中学校 二十二名
東金市立東金中学校 五クラス
柏市立逆井中学校 二クラス
柏市立柏第三中学校 二クラス
柏市立酒井根中学校 二クラス
柏市立松葉中学校 二クラス
柏市立田中学校 二クラス
柏市立大津ヶ丘中学校 二クラス
柏市立中原中学校 三クラス
柏市立風早中学校 三クラス
柏市立南部中学校 四クラス
柏市立豊四季中学校 一クラス
柏市立柏第四中学校 二クラス
柏市立柏中学校 二クラス

柏市立柏第二中学校 四クラス
白井市立白井中学校 二クラス
白井市立南山中学校 四クラス
野田市立南部中学校 二クラス
野田市立岩名中学校 二クラス
野田市立第二中学校 三クラス
野田市立木間ヶ瀬中学校 二クラス
野田市立第一中学校 二クラス
流山市立南部中学校 二クラス
流山市立北部中学校 三クラス
流山市立常盤松中学校 三クラス
流山市立東部中学校 一クラス



●東京都
三鷹市立第三中学校 一クラス
昭島市立拝島中学校 二クラス
青梅市立第二中学校 四クラス
青梅市立第一中学校 一クラス
江戸川区立葛西中学校 一クラス
世田谷区立用賀中学校 一クラス
台東区立忍岡中学校 三クラス
府中市立浅間中学校 一クラス
立川市立立川第二中学校 一クラス
立川市立立川第七中学校 一クラス

●神奈川県
愛川町立愛川中学校 四クラス
綾瀬市立城山中学校 四クラス

伊勢原市立成瀬中学校 四クラス
伊勢原市立伊勢原中学校 七クラス
横須賀市立浦賀中学校 二クラス
横須賀市立西本郷中学校 一クラス
横須賀市立山内中学校 三クラス
横須賀市立南が丘中学校 一クラス
茅ヶ崎市立北陽中学校 四クラス
川崎市立宮崎中学校 六クラス
川崎市立犬蔵中学校 二クラス
川崎市立向丘中学校 二クラス
川崎市立平中学校 二クラス
川崎市立野川中学校 二クラス
川崎市立有馬中学校 二クラス
川崎市立御幸中学校 五クラス
川崎市立南河原中学校 二クラス
川崎市立立高津中学校 三クラス
川崎市立西高津中学校 三クラス
川崎市立日吉中学校 三クラス
川崎市立立高津中学校 一クラス
川崎市立東橋中学校 一クラス
川崎市立橋中学校 三クラス
川崎市立東高津中学校 五クラス
川崎市立川崎中学校 三クラス
川崎市立京町中学校 三クラス
川崎市立南大師中学校 一クラス
川崎市立田島中学校 三クラス
川崎市立大師中学校 二クラス
川崎市立本中学校 二クラス
川崎市立渡田中学校 一クラス
川崎市立川中島中学校 四クラス
川崎市立臨港中学校 四クラス
川崎市立富士見中学校 五クラス
川崎市立生田中学校 一クラス
川崎市立稲田中学校 三クラス
川崎市立菅中学校 三クラス
川崎市立中野島中学校 三クラス
川崎市立西中原中学校 八クラス
川崎市立宮内中学校 二クラス
川崎市立中原中学校 一クラス
川崎市立平間中学校 一クラス
川崎市立玉川中学校 二クラス
川崎市立住吉中学校 一クラス
川崎市立王禅寺中央中学校 二クラス
川崎市立西生田中学校 四クラス
川崎市立柿生中学校 二クラス

川崎市立長沢中学校 三クラス
川崎市立白鳥中学校 一クラス
二宮町立二宮中学校 四クラス
藤沢市立秋葉台中学校 一クラス
藤沢市立湘洋中学校 三クラス
藤沢市立御所見中学校 二クラス
平塚市立大住中学校 一クラス
藤沢市立明治中学校 五クラス



●山梨県
甲府市立上条中学校 一クラス
甲府市立南西中学校 一クラス
甲府市立北東中学校 一クラス
甲府市立東中学校 三クラス
甲府市立南中学校 二クラス
甲府市立西中学校 四クラス
笛吹市立御坂中学校 二クラス
笛吹市立石和中学校 二クラス
山中湖村立山中湖中学校 二クラス
忍野村立忍野中学校 三クラス
組合立河口湖南中学校 一クラス
富士吉田市立下吉田中学校 六クラス
富士吉田市立明見中学校 三クラス
富士吉田市立吉田中学校 四クラス
富士吉田市立富士見台中学校 一クラス
北杜市立長坂中学校 二クラス
安曇野市立三郷中学校 三クラス

安曇野市立穂高西中学校 三クラス
安曇野市立堀金中学校 二クラス
安曇野市立明科中学校 三クラス
安曇野市立伊那中学校 一クラス
伊那市立高遠中学校 二クラス
伊那市立春富中学校 一クラス
伊那市立東部中学校 三クラス
塩尻市立丘中学校 三クラス
塩尻市立塩尻西部中学校 二クラス
塩尻市立塩尻中学校 四クラス
組合立岡小野中学校 一クラス
岡谷市立岡谷北部中学校 三クラス
岡谷市立岡谷西部中学校 一クラス
岡谷市立岡谷南部中学校 一クラス
阿南町立阿南第一中学校 一クラス
下條村立下條中学校 二クラス
喬木村立喬木中学校 一クラス
高森町立高森中学校 二クラス
松川町立松川中学校 一クラス
天龍村立天龍中学校 四名
山ノ内町立山ノ内中学校 三クラス
木島平村立木島平中学校 二クラス
栄村立栄中学校 一クラス
茅野市立東部中学校 三クラス
茅野市立永明中学校 一クラス
駒ヶ根市立東中学校 二クラス
佐久市立白田中学校 二クラス
佐久市立浅間中学校 四クラス
佐久市立中込中学校 一クラス
長和町立和田中学校 一クラス
小諸市立小諸東中学校 七クラス
小諸市立芦原中学校 三クラス
松本市立梓川中学校 一クラス
松本市立会田中学校 二クラス
松本市立鎌田中学校 二クラス
松本市立丸ノ内中学校 一クラス
信州大学教育学部附属松本中学校 三クラス
松本市立菅野中学校 四クラス
松本市立明善中学校 二クラス
松本市立開成中学校 二クラス
松本市立清水中学校 一クラス
松本市立信明中学校 三クラス
松本市立筑摩野中学校 二クラス
松本市立松島中学校 四クラス
松本市立高綱中学校 三クラス

松本市立波田中学校 二クラス
松本市立山辺中学校 一クラス
宮田村立宮田中学校 二クラス
辰野町立辰野中学校 三クラス
南箕輪村立南箕輪中学校 一クラス
飯島町立飯島中学校 一クラス
箕輪町立箕輪中学校 二クラス
小布施町立小布施中学校 二クラス
信濃町立信濃小中学校 二クラス
飯綱町立飯綱中学校 二クラス
組合立依田窪南部中学校 一クラス
上田市立第六中学校 一クラス
上田市立丸子中学校 三クラス
上田市立第五中学校 二クラス
上田市立真田中学校 三クラス
上田市立第四中学校 四クラス
坂城町立坂城中学校 三クラス
上田市立第二中学校 一クラス
下諏訪町立下諏訪社中学校 二クラス
原村立原中学校 二クラス
諏訪市立諏訪西中学校 一クラス
諏訪市立上諏訪中学校 一クラス
諏訪市立諏訪南中学校 一クラス
須坂市立東中学校 一クラス
須坂市立相森中学校 四クラス
須坂市立墨坂中学校 一クラス
千曲市立更埴西中学校 三クラス
千曲市立屋代中学校 一クラス
千曲市立戸倉上山田中学校 二クラス
千曲市立殖生中学校 一クラス
大町市立仁科台中学校 一クラス
大町市立第一中学校 一クラス
中野市立高社中学校 二クラス
中野市立南宮中学校 三クラス
中野市立中野平中学校 一クラス
飯山市立城北中学校 三クラス
飯山市立城南中学校 三クラス
飯山市立堀花中学校 六クラス
長野市立広徳中学校 五クラス
長野市立北徳中学校 二クラス
長野市立北中部中学校 二クラス
長野市立鬼無里中学校 一クラス
長野市立東部中学校 二クラス
長野市立戸隠中学校 四クラス
長野市立三陽中学校 六クラス
長野市立櫻ヶ岡中学校 六クラス



長野市立柳町中学校	一クラス
長野市立篠ノ井東中学校	一クラス
長野市立篠ノ井西中学校	三クラス
長野市立松代中学校	三クラス
長野市立西部中学校	一クラス
長野市立更北中学校	七クラス
長野市立犀陵中学校	三クラス
長野市立川中島中学校	三クラス
長野市立東北中学校	二クラス
長野市立中条中学校	一クラス
長野市立豊野中学校	一クラス
東御市立北御牧中学校	二クラス
東御市立東部中学校	三クラス
生坂村立生坂中学校	一クラス
組合立筑北中学校	一クラス
飯田市立高陵中学校	二クラス
飯田市立飯田西中学校	二クラス
飯田市立竜峽中学校	二クラス
飯田市立旭ヶ丘中学校	四クラス
飯田市立鼎中学校	一クラス
飯田市立遠山中学校	一クラス
小谷村立小谷中学校	一クラス
松川村立松川中学校	一クラス
軽井沢町立軽井沢中学校	五クラス
御代田町立御代田中学校	二クラス
上松町立上松中学校	一クラス
木曽町立福島中学校	二クラス

●富山県	
魚津市立東部中学校	一クラス
高岡市立志貴野中学校	一クラス
高岡市立南星中学校	二クラス
富山県立奥田中学校	五クラス
富山県立西部中学校	一クラス
富山県立新庄中学校	七クラス
富山県立芝園中学校	二クラス
富山県立南部中学校	二クラス
富山県立立合中学校	一クラス
●福井県	
福井県立美方高等学校	一クラス
福井県立啓新高等学校	二クラス
●岐阜県	
多治見西高等学校	七クラス
●静岡県	
伊東市立宇佐美中学校	二クラス
伊東市立門野中学校	三クラス
伊東市立北中学校	二クラス
伊東市立対島中学校	三クラス
伊豆の国市立大仁中学校	三クラス
伊豆の国市立長岡中学校	五クラス
伊豆の国市立韮山中学校	三クラス
伊豆市立土肥中学校	一クラス
伊豆市立中伊豆中学校	二クラス
掛川市立城東中学校	三クラス
掛川市立西中学校	二クラス
掛川市立北中学校	五クラス
菊川市立岳洋中学校	二クラス
菊川市立菊川西中学校	五クラス
菊川市立菊川東中学校	四クラス
御前崎市立浜岡中学校	六クラス
御殿場市立原里中学校	四クラス
御殿場市立富士岡中学校	五クラス
御殿場市立西中学校	三クラス
御殿場市立南中学校	五クラス
御殿場市立御殿場中学校	六クラス
三島市立山田中学校	一クラス
三島市立中郷中学校	三クラス
三島市立錦田中学校	五クラス
三島市立中郷西中学校	三クラス

三島市立北中学校	五クラス
小山町立北郷中学校	一クラス
清水町立清水中学校	五クラス
清水町立南中学校	三クラス
長泉町立長泉中学校	一クラス
沼津市立門田中学校	四クラス
沼津市立第三中学校	五クラス
沼津市立第一中学校	一クラス
沼津市立原中学校	一クラス
沼津市立戸田中学校	一クラス
沼津市立第五中学校	五クラス
沼津市立金岡中学校	五クラス
沼津市立愛鷹中学校	三クラス
沼津市立大岡中学校	五クラス
沼津市立今沢中学校	二クラス
沼津市立立長井崎中学校	三クラス
沼津市立立浮島中学校	二クラス
沼津市立第四中学校	四クラス
沼津市立第二中学校	二クラス
焼津市立焼津中学校	一クラス
焼津市立大富中学校	二クラス
吉田町立吉田中学校	四クラス
裾野市立富岡中学校	四クラス
沼津市立静浦小中一貫学校	二クラス
静岡市立安東中学校	二クラス
静岡市立服織中学校	二クラス
静岡市立磯山中学校	七クラス
静岡市立美和中学校	三クラス
静岡市立西奈中学校	三クラス
静岡市立立美中学校	二クラス
静岡市立立長田中学校	三クラス
静岡市立清水第一中学校	二クラス
静岡市立清水飯田中学校	二クラス
静岡市立清水第二中学校	六クラス
静岡市立清水第八中学校	二十五名
静岡市立清水第六中学校	一クラス
静岡市立清水函内中学校	一クラス
袋井市立周南中学校	一クラス
袋井市立袋井中学校	八クラス
袋井市立浅羽中学校	二クラス
函南町立函南中学校	三クラス
島田市立初倉中学校	一クラス

●愛知県	
藤枝市立岡部中学校	三クラス
藤枝市立藤枝中学校	一クラス
藤枝市立立幡中学校	二クラス
藤枝市立立青島中学校	六クラス
熱海市立多賀中学校	一クラス
磐田市立神明中学校	二クラス
磐田市立城山中学校	二クラス
磐田市立南部中学校	一クラス
磐田市立豊田南中学校	一クラス
浜松市立開成中学校	四クラス
浜松市立春野中学校	二クラス
浜松市立立井中学校	三クラス
浜松市立立北中学校	四クラス
浜松市立立北中学校	二クラス
浜松市立三方原中学校	六クラス
富士市立富士根南中学校	六クラス
富士市立富士根北中学校	二クラス
富士市立立井之頭中学校	一クラス
富士市立富士宮第四中学校	五クラス
富士市立富士宮第二中学校	三クラス
富士市立立北山中学校	二クラス
富士市立大富士中学校	六クラス
富士市立富士宮第三中学校	四クラス
富士市立富士宮第一中学校	六クラス
富士市立吉原第一中学校	五クラス
富士市立富士川第一中学校	二クラス
富士市立立鷹岡中学校	六クラス
富士市立吉原第二中学校	五クラス
富士市立立岩松中学校	四クラス
富士市立富士南中学校	六クラス
富士市立大淵中学校	四クラス
富士市立田子浦中学校	二クラス
富士市立富士土中学校	三クラス
富士市立須津中学校	二クラス
富士市立立須陽中学校	八クラス
富士市立吉原第三中学校	三クラス
富士市立吉原東中学校	一クラス
富士市立富士川第二中学校	二クラス
富士市立元吉原中学校	二クラス
牧之原市立相良中学校	二クラス
●愛知県	
尾張旭市立東中学校	二クラス
名古屋国際中学校・高等学校	二クラス

●大阪府	
近畿大学附属高等学校	七クラス
●兵庫県	
園田学園高等学校	一クラス
●和歌山	
開智高等学校	九クラス
●徳島県	
徳島県立城北高等学校	二クラス
徳島県立鳴門高等学校	一クラス
●佐賀県	
佐賀市立城西中学校	三クラス
●鹿児島県	
鹿屋市立上小原中学校	一クラス
●徳島県	
名古屋経済大学高蔵高等学校	五クラス
西塾中学受験部	一クラス
名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校	二クラス



「国宝 北野天神縁起絵巻」を読む

同志社大学文学部教授

竹居明男



「朱雀院行幸」の場面

醍醐天皇、宇多法皇と密議し、道真公に天下の政を一任。妬んだ藤原時平は無実の事を讒奏し、仲間と共謀して呪詛する。

——「朱雀院行幸」の段

第三卷第一段は、巻頭の五紙にわたる長い詞書と、さらに長大な十七紙にわたる画面で構成される（計二十二紙）。詞書は

昌泰三年（九〇〇）正月三日、朱雀院に行幸ならせ給ひて、延喜の御門（＝醍醐天皇）と寛平法皇（＝宇多法皇）と、御額を合はせて密議ありけり。

で始まり、「左右の両大臣」のうち、左大臣時平は重大高貴の家柄ではあるが、まだ三十歳にも満たず、かつ資質・才覚とも道真には及ぶべくもなく、結局、道真公に政務の一切を委任することになった。早速御前に召されて、その旨を伝えられた公は、恐懼の意を示すとともに、このたびの召しは、詩題を賜るためと装って、左大臣らを一旦は納得させた。しかし、密議の結果は次第に人々の耳にも入るようになり、時平は「無実の事を讒奏」し、また同調する公卿らと共謀して、道真呪詛の秘術を行なわせたが、道真公もこれに対抗した、との内容で終わる。

朱雀院は、平安京の右京にあつて朱雀大路に東面





し、計八町の広さを誇る、いわゆる累代の後院であつた。また、宇多天皇は、寛平九年（八九七）の譲位の後、昌泰二年（八九九）十月に出家している。

さて、これに対応する画面は、朱雀院の、瓦葺の四足門の左右に、多人数からなる行列の有様を克明に描いた計十紙分と、つづく七紙にわたる建物の中での密議の場面とに大別される。

上図は、前半のうち最初の三紙分の行列を割愛して掲載しているが、醍醐天皇の乗る葱花輦とその担ぎ手（駕輿丁）を中心に、前後左右には、騎乗する文官・武官たちや隨身、居飼などの姿を華麗細緻に描く。輦の巻き上げられた幕の間に、天皇の黄櫨染の袍が見えるが、顔は描かれない。しかし、行列する人物一人一人の顔貌の方は実に個性的に描き分けられ、彼らの声が聞こえて来るかのようなのである。

下図は、門をくぐった左手、すでに到着した武官や文官の姿が庭前に描かれ、左右には色格子をはめた立部が立つ。庭に面した小板敷の間には畳の上に衣冠姿の公卿が列座し、画面下に張り出した渡殿の奥に豪華な法皇の居室が見え、香染の僧衣姿の法皇と醍醐天皇との密談の様子が描かれるが、どちらも顔は隠れて見えない。さらにその奥の一室では、天皇・法皇の御前に召された道真公の姿が描かれ、画面左端の板戸の唐絵の描写も細緻である。

以上のように、この一段の画面は、一つの連続した空間の中に、行幸の列↓密談↓御前への召し、という時間的推移をも描いた、いわゆる異時同図表現といえる。一方、本段は、前述の時平の讒奏や呪詛の事は全く描かず、かつ本段の詞書を「延喜の聖の御門は、其の時御年十六、七許りにや、稚くおはしますべき程なれど」で結んでいるが、この直後に、道真公の運命が急転するのである。

（つづく）



「天皇・法皇密議」の場面

梅風会だより

第四十九回全国天満宮梅風会総会開く
松本市の深志神社を主会場に



全国天満宮梅風会の第四十九回総会が、六月三・四の両日、「深志の天神さま」として知られる長野県松本市の深志神社を主会場に全国から約二百人が参加して開かれた。

三日午後一時、深志神社へ正式参拝。同神社の

梅風閣で総会が開かれ、平成二十六年年度の経過や収支会計が報告された。来年度の第五十回記念総会は京都府支部の担当で行われる。総会后、

窪田雅之松本市立博物館館長の講演「松本城下町の繁栄・祈り・信仰 天神さま四百年」が行われた。

四日は穂高神社を正式参拝し、御船会館の見学などを行った。



神若会だより

●史跡御土居の青もみじ公開にあわせ、
北野天神太鼓会「青もみじ太鼓」披露

今年初公開となった史跡御土居の青もみじの公開を記念して、五月六日午後二時より御本殿前中庭で「青もみじ太鼓」を披露した。
観光客の参拝で賑わう境内で、この日のために特別に用意したおよそ十曲を演奏。迫力の和太鼓に、参拝者から多くの拍手が送られた。



ボーイスカウト第八十五団だより

●平成二十七年年度育成会総会並びに上進式

ボーイスカウト京都第八十五団育成会（会長 橘重十九宮司）の平成二十七年年度総会が四月二十六日午後四時から社務所大広間で開催された。



国旗儀礼の後、橘会長が「当団も発足三十数年がたつ。どの団も社会情勢の変化などによりスカウト数の減少に悩んでおり、当団においても例外ではない。しかし、スカウト活動は青少年の健全育成に必要なものであり、とりわけ天神さんにとってはきわめて大切なものである。今一度、かつての隆盛を取り戻し、地域の中心的な活動になっていくよう願っている」と挨拶した。この後、本殿において約四十人が参列の下、上進式が行われた。カブ隊からボーイス隊へ一人が上進したほかビーバー隊へ四人

の新入隊員があり、誓いのことを述べ、梶道嗣団委員長らが励ましの言葉を贈った。

二十七年年度の八十五団の主な活動計画は次の通り。

▽海外スカウトホームステイ受け入れ（七月下旬～八月上旬）▽京都連盟百周年記念イベント（八月上旬）▽団行事「大料理大会」（十月中旬）▽バザー（十月二十五日）▽百周年記念式典（十一月一日）▽餅つき大会（十二月下旬）▽火縄奉仕（十二月三十一日）▽正月参拝者迷子奉仕（平成二十八年一月一日）▽ヤチマタ募金（同三日）▽全国女子駅伝治道奉仕（同十七日）▽伊勢参宮（同下旬）▽全国車イス駅伝治道奉仕（三月六日）

神若会「臨時総会」開催

花傘会が正式入会し、

総勢百人規模の神社青年会に

天神様を心から崇敬する若者が中心となって活動する北野天満宮神若会（会長 柴田晃一郎）の臨時総会が、五月十六日午後七時より社務所大広間で行われた。

神若会は当宮への奉仕をはじめ天神太鼓会として幅広く活動を展開し、地域や氏子区域の活性に努めている当宮の青年会。

今回、志を共にする「北野花傘会」が正式入会し、会全体としては総勢百人を超える京都でも有数の神社青年会として活動する。

今後は北野天神太鼓会と北野花傘会が共に手を取り合い、これまで以上の活躍が期待される。



「常盤の老松」、うまく舞えますように
「都の賑い」出演の祇園甲部の芸妓ら成功祈願



お祝いをうける祇園甲部歌舞会のみなさん

京都の五花街による
合同公演「都の賑い」
(六月二十七、二十八日、
南座)に先駆け五月
二十八日、当宮と縁深
い「常盤の老松」を舞
う祇園甲部歌舞会の芸
妓、そ乃みさん、孝鶴
さん、総務の太田紀美
さんの三人が参拝され、
午後二時から本殿で成
功祈願祭を斎行した。

勢ぞろいして華やかな舞台を繰り広げるもので、今年で
二十二回目。

祇園甲部の二人が舞う「常盤の老松」は、道真公の「飛
梅伝説」などを題材にした能「老松」を基にしたもので、
井上流ではご祝儀舞になっているという。

祝詞奏上の後、三人が玉串を捧げ、舞台の成功を祈願
した。祭典の後、そ乃美さんらは「五花街では最初に舞
うので、後

に続く方々が
気持ちよく舞
えるように頑
張りたいです。
無事に舞い終
えることがで
きますように
と祈りまし
た」と、話し
ていた。



過去には千百年大萬燈祭で舞を奉納するなど
当宮と縁深い祇園甲部歌舞会(平成十四年)

渡邊さん夫妻「結婚を記念して」献木



深い御縁を感じ、今回当宮で結婚式を挙げら
れる記念として献木の運びとなった。「天神
さんは二人の思い出の場所。献木した梅がこ
れから毎年綺麗に花開くのを楽しみにした
い。」と話されていた。

牛舎装飾神具の奉納



当宮崇敬
者である石
田孝夫氏
(京都市西
京区在住)
が、境内北
西の乾に位
置する牛舎
の装飾神具
(紫地幕・白地幕・御簾四面・鈴緒四本・提
灯四燈・賽銭箱)を奉納され、四月二十四日
に奉納奉告祭を斎行した。
代々石田家は当宮に対し御崇敬の念篤く、
過去にも牛舎の神具を奉納頂いている。昨年
夏に牛舎が往時の場所に移築されたことを記
念し、新たに今回奉納の運びとなった。

ユネスコ記憶遺産に
当宮から「北野天神縁起」を申請



二〇一七年に国連教育科
学文化機関(ユネスコ)記
憶遺産への登録を目指す候
補として、当宮からも国宝
『北野天神縁起』を申請した。
文部科学省が六月二十三
日に発表したところによ
ると、登録を目指す候補は、
当宮の『北野天神縁起』を
始め史料を保有する全国の
社寺・地方自治体から申請
された十六件という。
日本ユネスコ国内委員会
は、今年九月、申請のあつ
た十六件から二件を選び、
来年三月にユネスコに推薦。
二〇一七年の夏ごろにユネ
スコが審査し、登録の可否
が決まる。

終戦七十年にあたり、靖國神社を正式参拝

終戦七十年に当たり、神社界あげての靖
國神社参拝が実施されている中、当宮神職
をはじめ全職員が三班に分かれ正式参拝を
行った。

本殿での正式参
拝で、今日の平和
の礎を築かれた英
霊に対し哀悼と感
謝の誠をささげ、
日本の平安と更な
る発展を祈念した
後、神社内の遊就
館で開催中の「大
東亜戦争七十年展
最終章」を拝観した。



靖國神社参拝(5月7日第1班)

献詠

濱崎加奈子選

菅公は詩歌に優れ、多くの名歌を詠われました。室町時代には「和歌の神」と仰がれ、さらに柿本人麻呂と山部赤人と並んで「和歌三神」と称えられています。

四月「花曇」

花曇りバス停二つ歩む坂

保育園児に声かけらるる

花曇り流るる川の花いかだ

浄土まゐりに友旅立ちて

花曇薄きベールのかすみかな

あらはれきたりとき知らしめむ

古里の墓に大樹の山桜

花曇りしていよ霞めり

やさしさは時に裏切り花曇

君の手紙を読み返す夜

花曇り吉野の花は咲き登る

花の波間に史のうきしずむ

遅咲きの紅梅の匂ひて早咲きの

桜彩る花曇りかな

照らぬ日の道灯りかな八重桜

もの思ふ身に撓みかかれり

花曇玲瓏の水多摩川の

清き面に富士の峯映ゆ

咲きて散る花のさだめを知りてなほ

曇らむ空はおのが心か

【評】桜の木々を遠くから眺めると雲のように見えるが、それは陽の光を通してながら重なりあう無数の花びらが微妙な陰影をつくりあげているからである。そんな桜の咲くころの曇天。鳥曇りとも。

五月「玉」

代々つがひ玉なす汗に成りし郷

敬神崇祖中今に生く

玉水木葉箱十七鳥の声

少し濃いめのほうじ茶注ぐ

満願に印度翡翠の玉光る

数珠たまはりて卒寿をむかふ

桃山の玉垣めぐり思ひこし

遙けき御代に祈りあるのみ

終戦後七十年を過ぎたれど

あの玉音は今だ忘れず

大阪府 村島 麗門

愛知県 鈴木 幸子

京都市 今井 輝子

岐阜県 波多野千寿子

京都市 若狭 静一

京都市 仁枝 尚子

愛知県 長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

東京都 田口 絵恵

福井県 武曾 豊美

大阪府 村島 麗門

京都市 今井 輝子

岐阜県 波多野千寿子

京都市 若狭 静一

愛知県 鈴木 幸子

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

東京都 田口 絵恵

福井県 武曾 豊美

大阪府 村島 麗門

京都市 今井 輝子

岐阜県 波多野千寿子

京都市 若狭 静一

愛知県 鈴木 幸子

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

東京都 田口 絵恵

福井県 武曾 豊美

大阪府 村島 麗門

京都市 今井 輝子

岐阜県 波多野千寿子

玉碎の島に巖かなる一歩
ありて万余の御霊鎮まる
夕ぐれの街行くわれの行き先は
玉のここのけの明星の方
玉衣をまとひて舞へる松風は
明石の月や衣は光りぬ
わらはべの健やかなれと祈る日ぞ
五月の玉の糸よりかけて
朝露の青葉転がる玉しずく
こずえただ射す木漏れ日の春
わが指にあえかなひかり真珠玉
祖母の面影恋ひて偲びて

京都市 若狭 静一

京都市 塩小路光胤

愛知県 仁枝 尚子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

長岡京市 智野利恵子

京都市 若狭 静一

愛知県 鈴木 幸子

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

長岡京市 智野利恵子

京都市 朝比奈崇子

東京都 白石 雅彦

長岡京市 智野利恵子

六月「襲」

忌はしき空襲警報鳴り止みて

七十年の御代のおだしき

紫野和服の似合ふ街なれど

朝のメニューはクロワッサンで

襲をばはおりたくなる世のいろは

前にすすみて心おだやか

祖父逝きて田舎の家を襲ふのは

兄弟の中末弟とせし

七十年過ぎたる今も空襲の

こはき爆音脳裏をよぎる

襲名の儀式に臨むまなこには

土俵上より白熱ありき

詠みしうた書きとめをける和装帳

表返しは襲色目に

とりどりに色襲たる紫陽花の

弾ける花びら白露遊ぶ

雅なり襲の衣赤心の

今に伝へし左方の御舞

【評】同じ題でも人によりさまざまな情景を思う。有職の襲には、装束の表裏の色を合わせる考え方のほか、重ね着による襲ね色目、また織の糸を遣える色目があり、時代によっても異なる。

正式参拝された皆様(敬称略)(四月〜六月)

四月 三日(金) 近畿大学医学部

四月 六日(月) 正地稲荷神社

四月 十一日(土) 東郷神社名誉宮司 松橋暉男

四月 十八日(土) 岐阜県瑞浪市 天神社氏子総代会

四月 十九日(日) 関西医科大学耳鼻咽喉科学教室

四月 十九日(日) 御坊ロータリークラブ

四月 二十二日(水) 慶応ワグネル四十一期生

四月 二十二日(水) 忠節天神神社

五月 十五日(金) 葛西神社

五月 十八日(月) 松浦武四郎記念館友の会

五月 二十日(水) 園部ロータリークラブ夫人の会

五月 二十日(水) よみうり文化センター京都

五月 二十四日(日) 「京都・社寺にゆつくり

おまわり講座と旬の料理」

七草の会

祇園甲部歌舞会

北田二班親睦旅行

石川県七尾市中島公民館

日本吟詠総連盟近畿地区

皇學館大学 神道学専攻科学生

東京都神社庁北多摩支部

吟道撰楠流豊岡吟詠会

弓弦羽神社

津田天満宮

鯉橋熊野社奉賛会

四月 四日(土) 宮本祐輔・綾子

四月 五日(日) 青木薫・恵美

四月 二十四日(金) 佐々木玄太郎・あきつ

五月 三日(日) 國濱剛・彩子

五月 三日(日) 井上寛之・詳子

五月 九日(土) 渡邊直之・恵莉

五月 十六日(土) 塩入史章・愛

五月 三十一日(日) 立岩大助・文香

六月 六日(土) 河嶋大樹・千賀子

六月 十四日(日) 小俣康平・美穂

挙式された皆様(四月〜六月)

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

ご夫妻

● 献詠奉納についての問い合わせは、北野天満宮献詠係までご連絡ください。

京都府文化財新指定

遺教院伝来天神像

写真1が前回紹介した根本御影、写真2が今回紹介する比叡山延暦寺東塔南谷の僧坊遺教院に伝来し、現在当宮蔵となっている天神像である。遺教院伝来天神像は、作者は不明であるが、根本御影とほぼ同時期、南北朝時代〜室町時代の制作と推定されている。

写真の通り、一見して両者は区別しがたいほど似ている。大きさも前者が縦八四・三センチメートル、横三四・二センチメートル、後者が縦八三・五センチメートル、横三四・八センチメートルとほぼ同じであり、図像も、全体としては細部にいたるまで根本御影と一致している。敢えて違いを求めれば、やや穏やかな眉の表現や形式化の進んだ平緒などに差が見られる位である。こうした点から両者は共通の祖本から作製されたものと考えられている。

本像には二通の添状がある。その内の一通は、元治元年（一八六四）八月の菅公神像の授与状である。この授与状によれば、この天神像は、比叡山延暦寺南谷の遺教院の鎮守にあった菅公の神像で、天神を信仰する雨森氏の求めに応じて比叡山無動寺谷大阿闍梨遊樂院釈実讓が、これを授与するとしている。南谷は、比叡山の東塔・西塔にもあるが、遺教院は東塔にあり、天神を祀る寺として古くから知られていたようであるが、現在は廃絶している。

同じく添付されているもう一通の添状も、実讓が記したもので、「菅公神像伝来略記」との

天満宮 歴史の一齣

京都大学名誉教授

藤井 讓治

題があり、そこには、菅原道真が左遷の際に尊意へ授与したとの由緒を記している。その後、田中一馬氏の所有となり、大正十三年

（二九二四）七月二十六日に田中氏から当宮に奉納された。当宮の「社務日誌」の同日条に「午前拾時頃、内貴甚三郎、田中一馬同伴、古画土佐筆菅公御神影奉納、来社、（当社信実神影類似ノモノ）、午後宮司、内貴・田中両氏へ挨拶ニ行ク」と記されている。なお内貴氏は初代京都市長、田中氏は京都織物株式会社頭取、のち貴族院議員となった人である。



写真1

絹本着色束帯天神像
（根本御影）

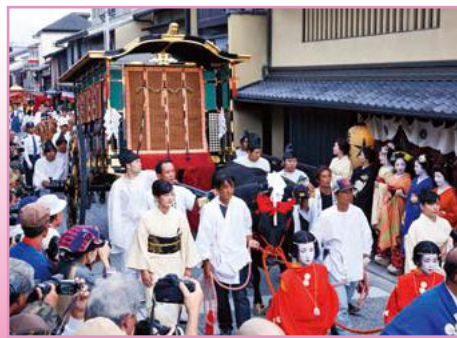


写真2

絹本着色束帯天神像
（遺教院伝来）

瑞饋祭

ずいきまつり



● 由緒

京都の代表的な秋祭りとして知られる瑞饋祭は、村上天皇の御代、天慶九年（九四六）〜康保四年（九六七）にはじまると伝えられています。中でも四日の還幸祭は、「おいでまつり」の別名が示すように、「大宰府で御隠れになられた菅原道真公の御霊が、神様として初めて北野の地においでになる」という御鎮座の由来を回顧し、再現するという意味があります。

年に一度、御鎮座の往時に思いを致し御神霊を「お迎えする」ことで、氏神としての天神様を改めて意識し感謝する心が育まれるのです。

還幸祭渡御には、御鳳輦三基、御羽車一基、瑞饋御輿大小に基などが出御、その他供奉者等あわせて総勢二〇〇名が氏子区域を巡行します。

〔祭礼日程〕

一日	神幸祭	午後一時 午後四時	行列出発 御旅所到着
二日		午前十時	献茶祭
三日		午後三時	（表千家宗匠奉仕） 甲御供奉饌 （七保会奉仕）
四日	還幸祭	午後一時 午後四時半	行列出発 本社到着
五日		午後三時半	后宴祭 （八乙女舞奉納）



七五三

詣は、知恵の神様 北野天満宮へ



七五三詣は、子供の成長に感謝し無事を祈り、神社にお参りする大切な人生儀礼です。

北野天満宮は、全国天満宮の総本社です。子供は国の宝であり、親にとってもかけがえのない宝です。

天満宮で七五三詣をし、子供の成長と無事を祈るとともに、さらに天神様のご加護で知恵を授かりましょう。

ご家族お揃いでのご参拝をお待ちいたしております。



一、受付日

十一月中、毎日受付いたします。
※但し、十一月二十三日（月）、十一月二十六日（木）は、祭典のためご祈祷を中断する時間帯がございますのでご了承下さい。

※尚、十一月以外の月も、事前にお申込み下さればお受けいたします。

二、七五三詣初穂料

一人 五千円より

二人 八千円（兄弟姉妹に限る）

三人 一万二千元（兄弟姉妹に限る）

三、授与品・記念品

知恵守、千歳飴、祝い笹、
ディズニの学用品セット

四、案内状持参の特典

特別授与品の「勾玉」を進呈

御縁日 境内ライトアップ

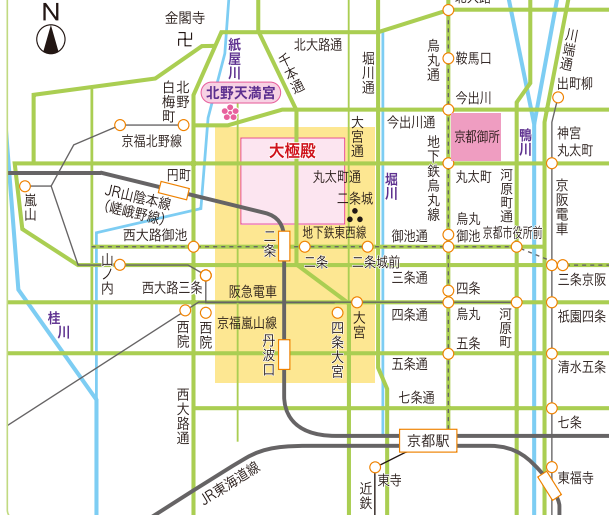


毎月25日は天神さんの御縁日。
夜9時まで境内特別ライトアップ！

定期購読のお知らせ

- 定期購読 1,000円（1年分）
季刊・年4回発行
- 学校・教育機関でお申込みの場合は無料発送。
- お申込み・お問い合わせは、社務所まで。

今昔マップ



平安京

当宮は平安京の乾に位置し、古くより天のエネルギー、パワーの働く北野の地に祀られています。

平安京の内裏、大極殿北西に位置し三光門の真上に北極星が輝き、天子様が北極星を拝する聖なる社でした。

平安京の大極殿（遷都より600年の間）は今の京都御所の西にありました。

紙屋川、堀川に挟まれ、すぐ北西に当宮が建てられています。

- 平安京（大内裏）
- 大極殿（室町時代迄の平安京）
- 京都御所（室町時代以降）

